

# 塾における授業と教材、IT活用に関する 意識調査報告書

eラーニング戦略研究所  
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>

# 目次

1. 調査概要 .....	3
2. 回答者属性 .....	4
3. まとめ .....	7
4. アンケート結果にみるポイント .....	8
5. アンケート調査結果 GTグラフ .....	13
GT表 .....	41
クロス表 .....	69

# 1. 調査概要

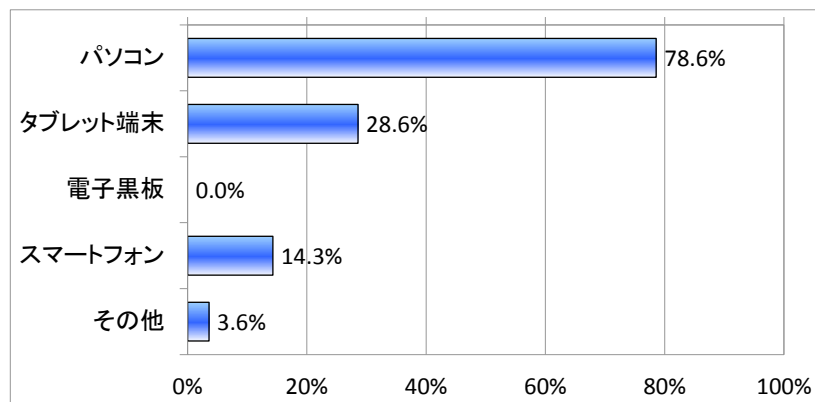
eラーニング戦略研究所は、全国の塾講師計100名を対象に、塾における授業と教材、IT活用に関するアンケート調査を実施しました。(有効回答数100)

その結果、塾におけるIT導入率は28%であり、塾講師の約3.5人に1人が授業でIT機器を活用していることが明らかとなりました。また、ITを活用している講師の多くが「生徒の興味関心が高まる」「生徒の授業理解度・成績が上がる」など、その効果を実感していることがわかりました。IT機器の具体的な利用方法としては、「映像等を生徒に見せながら授業を実施」「課題添削」「成績管理」のほか、「オンライン上での質疑応答」「無料のテレビ電話ソフトによる個別授業」などが挙げられ、従来の指導の枠を超えた様々なサービスが展開されつつあるようです。

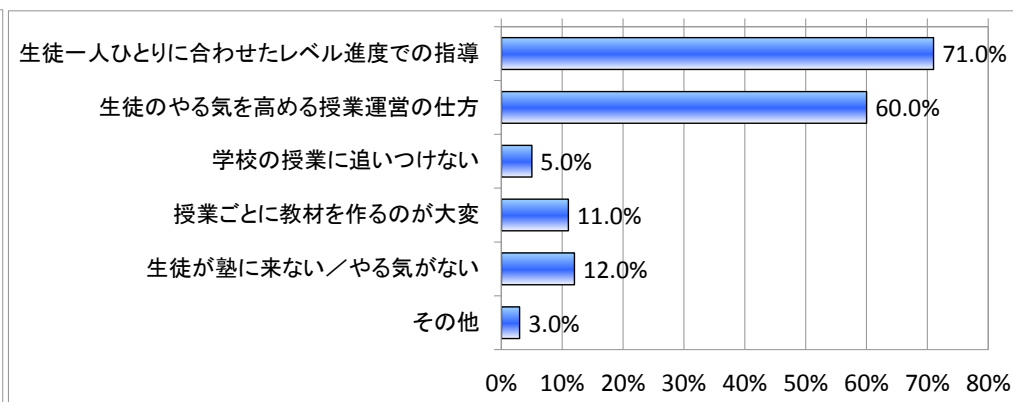
一方、IT導入のデメリットとしては「費用がかかる」が「デメリットはない」と同じ割合でもっとも多い結果となりました。実際にIT機器を導入している塾の約7割が「生徒側の金額負担はない」と回答しており、塾側にIT化のための金銭的負担が重くのしかかっている現状が浮き彫りとなった形です。

アンケートではそのほか、最近の塾に多い形態や規模、講師が考える良い教材の条件、塾講師を悩ませる指導上の課題、IT活用授業への期待と懸念などが明らかになり、現在の塾が抱える問題点と今後の動向が注目される結果となっています。

設問9-2. 塾で利用しているIT機器は？



設問10. 生徒を指導する際の課題は？



## 2. 回答者属性

### アンケート調査概要

調査期間 : 2013年6月21日(金)～6月26日(水)

調査方法 : Webアンケート方式

調査対象 : 全国の塾講師 計100名

性別内訳 : 男性74名(74%)、女性26名(26%)

年代別内訳 : 25～29歳 4名(4%)、30～39歳 22名(22%)、40～49歳 32名(32%)、50～59歳 22名(22%)、60～69歳 16名(16%)、70～74歳 4名(4%)

### 性別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	男性	74	74.0%
2	女性	26	26.0%

## 年代別内訳

		N	%
全体		100	100.0%
1	25歳～29歳	4	4.0%
2	30歳～39歳	22	22.0%
3	40歳～49歳	32	32.0%
4	50歳～59歳	22	22.0%
5	60歳～69歳	16	16.0%
6	70歳～74歳	4	4.0%

## 都道府県別

全体		N	%	全体		N	%
		100	100.0%			100	100.0%
1	北海道	4	4.0%	25	滋賀県	1	1.0%
2	青森県	0	0.0%	26	京都府	3	3.0%
3	岩手県	0	0.0%	27	大阪府	10	10.0%
4	宮城県	2	2.0%	28	兵庫県	2	2.0%
5	秋田県	4	4.0%	29	奈良県	2	2.0%
6	山形県	0	0.0%	30	和歌山県	2	2.0%
7	福島県	1	1.0%	31	鳥取県	1	1.0%
8	茨城県	3	3.0%	32	島根県	0	0.0%
9	栃木県	0	0.0%	33	岡山県	1	1.0%
10	群馬県	0	0.0%	34	広島県	5	5.0%
11	埼玉県	6	6.0%	35	山口県	1	1.0%
12	千葉県	3	3.0%	36	徳島県	1	1.0%
13	東京都	11	11.0%	37	香川県	2	2.0%
14	神奈川県	9	9.0%	38	愛媛県	0	0.0%
15	新潟県	0	0.0%	39	高知県	0	0.0%
16	富山県	1	1.0%	40	福岡県	3	3.0%
17	石川県	1	1.0%	41	佐賀県	2	2.0%
18	福井県	0	0.0%	42	長崎県	2	2.0%
19	山梨県	1	1.0%	43	熊本県	1	1.0%
20	長野県	1	1.0%	44	大分県	1	1.0%
21	岐阜県	0	0.0%	45	宮崎県	2	2.0%
22	静岡県	4	4.0%	46	鹿児島県	0	0.0%
23	愛知県	5	5.0%	47	沖縄県	2	2.0%
24	三重県	0	0.0%	48	海外	0	0.0%

### 3. まとめ

少子高齢化と言われる現代ですが、子ども一人当たりにかかる教育費の増加や小中学生の通塾率の上昇により、学習塾・予備校業界は依然としてかなりの市場規模を維持しています。とはいえ、塾間の競争は激しく、授業内容やサービスの向上、教室の拡充、費用など他塾との差別化に消費者の厳しい目が向けられているのが現状です。今回は、全国の塾講師計100名を対象に、塾における授業と教材、IT活用の実態について、アンケート調査を実施しました。

その結果、塾におけるIT導入率は28%であり、塾講師の約3.5人に1人が授業でIT機器を活用していることが明らかとなりました。2012年6月にeラーニング戦略研究所が実施した「PC・インターネットを利用した学習に関するアンケート調査」では、塾・予備校でのPC・インターネット学習利用率は16.2%であったことから、塾におけるIT活用は徐々に進んでいることがうかがえます。また、ITを活用している講師の多くが「生徒の興味関心が高まる」「生徒の授業理解度・成績が上がる」など、その効果を実感していることが明らかとなりました。塾の講師たちは、生徒を指導する際の課題として「生徒のやる気を高める授業運営」に強い関心を示しており、IT機器の効果的な活用が、塾が抱える課題を解決する一助となる可能性があるものと考えられます。

一方、IT導入のデメリットとしては「費用がかかる」が「デメリットはない」と同じ割合でもっとも多い結果となりました。実際に、IT機器を導入している塾の約7割が「生徒側の金額負担はない」と回答しており、塾側にIT化のための金銭的負担が重くのしかかっている現状が浮き彫りとなった形です。

塾で使用されている教材の形式としては、プリントやテキストが主流であることが明らかとなりました。しかしながら回答者の5人に1人が「映像教材を簡単作成できるサービス」に興味を持っていることから、それぞれの塾に合ったオリジナル映像教材の作成・活用に潜在的なニーズがあるものと推察されます。

その他、最近の塾に多い形態や規模、講師が考える良い教材の条件、塾講師を悩ませる指導上の課題、IT活用授業への期待と懸念など、塾を取り巻く様々な現状と本音が明らかとなった今回のアンケート。「主体的な学習の機会を奪うのでは」「具体的な使い方や効果が不明」「今の授業手法のままで良い」「コストがかかる」など、IT化への懸念が挙げられる一方、生徒の学習意欲や成績の向上のためITを活用したいという声も多く聞かれました。今後は、従来の個別指導や直接指導の利点を残しつつ、生徒自らが主体的に考え、学べるIT導入が実現できるかが、学習塾・予備校市場で差別化を図る上での重要なポイントとなりそうです。まだまだ発展途上にあるIT活用教育がどのように成長していくか、今後の進展に期待したいところです。

## 4. アンケート結果にみるポイント

■塾の形態は「集合授業型」40%、「個別指導型」39%

■生徒の年齢が上がるにつれ「集合授業型」が増加、規模も拡大の傾向

最初に、回答者が所属する塾の形態や規模、対象とする生徒の年齢層を聞いた。

その結果、「中学生」を対象とする塾がもっとも多く72%、次いで「小学4～6年生」68%、「高校生」64%となった。生徒数は、「30名以下」39%、「101名以上」30%の順に多く、塾の形態としては、「集合授業型」40%、「個別指導型」39%がほぼ同じ割合で多かった。小学校低学年までは「個別指導型」が多く、年齢層が上がるにつれ「集合授業型」が増える傾向が見られた。個別指導型の塾の過半数が「生徒数30名以下」で、集合授業型の塾の半数が「生徒数101名以上」だった。

塾の1回あたりの授業時間は「90分以上」がもっとも多く35%、次いで「60分」19%、「90分」17%となった。小学校高学年以上になると、1回あたり「90分以上」の授業が主流である。個別指導型、集合授業型の塾では1回あたり「90分以上」の授業が多く、少人数型の塾では「60分」の授業が多いことがわかった。

かつて学習塾といえば学校と同じ集団授業型が主流だったが、次第に学力に応じたきめ細かい指導が求められるようになり、今回のアンケートでも「集合授業型」と「個別指導型」が拮抗した形となっている。生徒数別にみると、個別指導型／少人数型の塾は、生徒数30名以下の小規模なスタイルが多く、集合授業型の塾は、生徒数101名以上の大規模塾が多いようだ。対象となる塾は未就学児を対象とする塾から、小学生、中学生、高校生、大学生、浪人生、社会人をそれぞれ対象にする塾まで幅広く、生徒の年齢が上がるにつれ「集合授業型」が増え、塾の規模も拡大する傾向が見られた。



## ■映像教材の使用率は28%

### ■他塾との差別化に向けオリジナル映像教材の作成・活用に潜在的なニーズか

塾で使用している教材としては、「プリント教材」92%、「テキスト教材」90%の使用率が高く、「映像教材」の使用率は28%と低かった。内訳をみると、未就学児や浪人生向け塾での映像教材の使用率が比較的高い傾向が見られた。また、集合授業型の塾における映像教材の使用率も40%と高めだった。

現在使用している教材の長所について尋ねたところ、「学生のレベルに合わせた内容になっている」がもっとも多く46%、次いで「問題数が適量であり取り組みやすい」43%、「学校で使用している教科書に沿っている」42%となった。一方、教材の短所については、約半数の講師が「塾の教材に不満はない」と回答した。不満として多かったのは「学校で使用している教科書に沿っていない」19%、「問題数が多すぎる／少なすぎる」16%などとなった。

次に、塾の教材をインターネット上で一般販売する場合の懸念事項について尋ねたところ、「準備や運用に多額の費用がかかりそう」32%、「教材作成や受講者管理、決済などシステムの扱いや運用に不慣れ」27%、「受講者とのパイプがないため教材が売れるか心配」22%などとなった。「特に不安はない」は37%だった。

以上の結果から、講師の約半数が現在塾で使用している教材に概ね満足していることが明らかとなった。講師が考える良い教材の要素トップ3は、「生徒のレベルに合っている」「問題数が適量」「学校の教科書に沿っている」であり、この要件を満たしている教材を作成または使用している塾が多いようだ。教材の形式としてはプリントやテキストが主流で、映像教材の使用率は低かった。しかしながら回答者の5人に1人が「映像教材を簡単作成できるサービス」に興味を持っていることから、それぞれの塾に合ったオリジナル映像教材の作成・活用に潜在的なニーズがあるものと推察される。

## ■塾講師の3.5人に1人が授業でIT機器を活用

### ■その多数が「生徒の興味関心が高まる」「授業理解度・成績が上がる」と効果を実感

塾におけるIT機器の活用について尋ねた結果、「利用している」は28%、「利用していない」は72%となった。生徒の年齢が上がる程、IT利用率も高くなる傾向が見られた。利用機器は「パソコン」がもっとも多く78.6%、次いで「タブレット端末」28.6%、「スマートフォン」14.3%が続いた。小学校高学年、中学生を対象とした塾では「タブレット端末」の利用率が高めだった。具体的な利用方法としては、「映像等を見せながら授業を実施」「辞書代わりに使っている」「オンライン上で質疑応答ができる」「無料のテレビ電話ソフトによる個別授業」など。課題添削や成績管理、情報伝達(連絡)をIT化している塾も見られた。

IT機器の利用者に対し、そのメリットを尋ねたところ、「生徒の興味関心が高まる」がもっとも多く64.3%、次いで「生徒の授業理解度/成績が上がる」32.1%、「生徒が授業に積極的に参加してくれる」25%となった。一方、デメリットは「費用がかかる」「デメリットはない」が35.7%で同率1位となった。

気になる導入費用については、「1~50万」と答えた人がもっとも多く46.4%だった。また、生徒側の金額負担としては、67.9%の塾が「なし」と回答した。生徒側の金額負担がある場合は、「入塾時に10,000円以内」か「月々3,000円以内」が多かった。

一方で、塾における指導上の課題として、71%の講師が「生徒一人ひとりに合わせたレベル・進度での指導」、60%が「生徒のやる気を高める授業運営」と回答した。

以上の結果から、塾におけるIT導入率は28%であり、塾講師の約3.5人に1人が授業でIT機器を活用していることが明らかとなった。2012年6月にeラーニング戦略研究所が実施した「PC・インターネットを利用した学習に関するアンケート調査」では、塾・予備校でのPC・インターネット学習利用率は16.2%だったことから、塾におけるIT活用は広まりつつあると言える。また、利用者の多くが「生徒の興味関心が高まる」「生徒の授業理解度・成績が上がる」とその効果を実感している点が興味深い。とくに、生徒の年齢が低いほど「授業理解度/成績が上がる」「予復習率が上がる」傾向が見られ、コスト面などでの懸念はあるものの、IT活用による効果を実感している講師が多いようだ。塾の講師たちは、生徒を指導する際の課題として、「生徒のやる気を高める授業運営」に強い関心を示しており、IT機器の効果的な活用が、塾が抱える課題を解決する一助となる可能性があるものと考えられる。

## ■IT活用授業で「生徒の学習意欲・成績向上」に期待感

### ■従来の指導法の利点を残しつつ、“生徒自らが主体的に考え、学べる”IT導入を

IT機器を授業利用していない講師に対し、利用したいかどうかを尋ねたところ、「利用してみたい」「どちらかといえば利用してみたい」が33.3%。「利用したくない」「なるべく利用したくない」が32%、「どちらでもよい」34.7%となり、意見が分かれた。男女共に年齢が低い程、IT活用に積極的だった。また、集合授業型の塾講師は、IT活用に積極的な傾向が見られた。

「利用してみたい」派の理由としては、「視覚に訴える授業をしたい」「多角的な授業ができる」「映像やカラフルな資料でビジュアル的にした方が今時の子にはわかりやすい」などが挙げられた。「利用したくない」派の理由は、「導入コストがかかる」「1対1の授業なので必要がない」「直接指導が効果的だから」「パソコン教材は現場の人間が作ったものではないため、柔軟性に欠ける」などとなった。

最後に、塾でのIT活用に期待すること、または課題を聞いた。「インフラ整備と費用」「教材のレベル向上」といった課題のほか、「一方通行的な映像教材になってしまう可能性がある」「受動的な学習になってしまうのでは」など、生徒が受け身になるのではと懸念する声が見られた。一方で、「授業のマンネリ化を変えることができそう」「もっとアカデミックな授業ができる」「欠席した生徒に授業風景を伝送できれば良い効果が期待できる」「低成績層の学力引き上げ」「図形を立体的に映像化できたりネイティブな発音を聞かせる」といった期待の声も多かった。「資料提供としてITを活用する一方、学ぶ過程はIT化せず“書く・調べる”など手間ひまをかけて作業することで実力を定着させるべき」とする意見もあった。

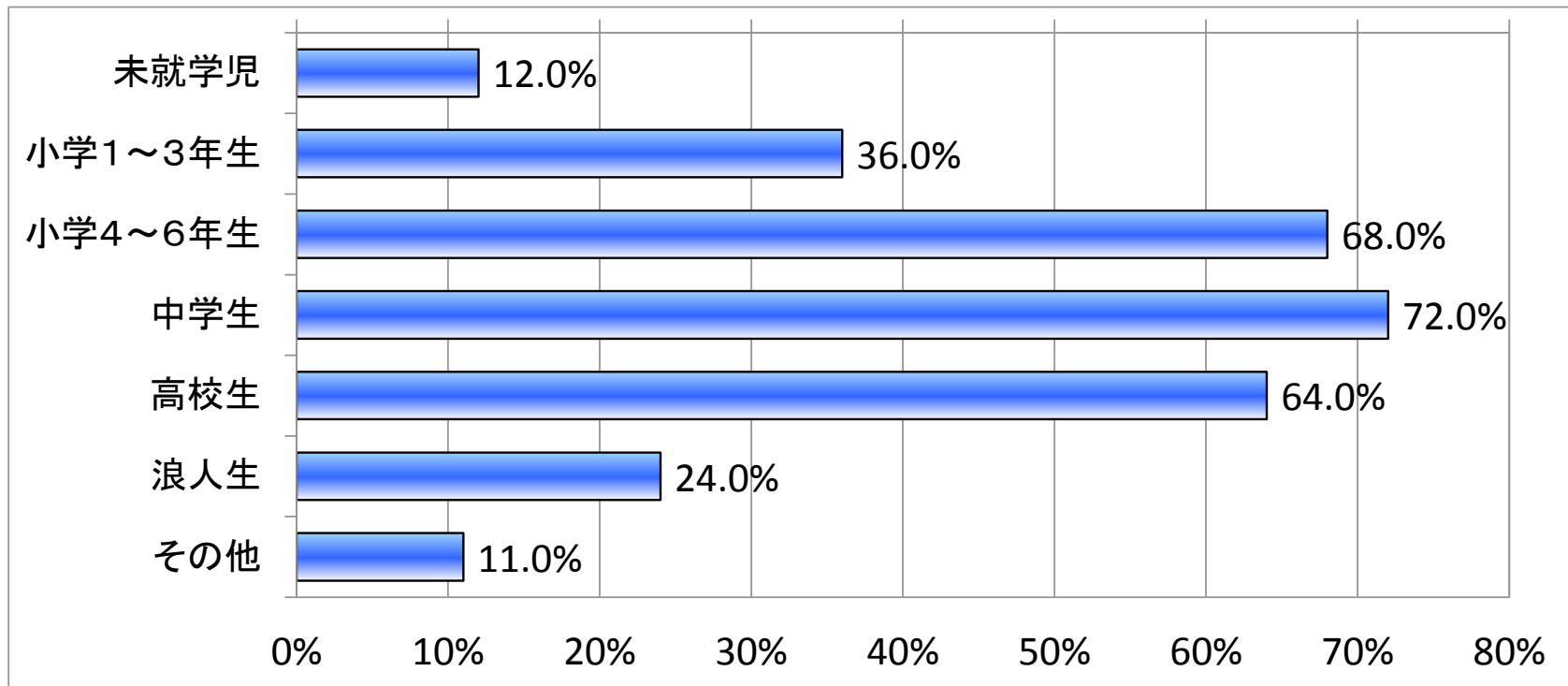
授業におけるIT活用に対して様々な懸念・課題が挙げられたが、大別すると、「主体的な学習の機会を奪うのでは」「具体的な使い方や効果が不明」「今の授業手法のままで良い」「コストがかかる」に集約されるようだ。その一方で、映像や動画、写真、資料といった“視覚的教材”を効果的に活用した授業に対する関心は高い。いずれにしても、生徒の学習意欲や成績が向上することが最終的な目的であり、IT活用はその手段のひとつに過ぎない。従来の個別指導や直接指導の利点を残しつつ、生徒自らが主体的に考え、学べるIT導入が実現できるかが、熾烈な競争が繰り広げられる学習塾・予備校市場で差別化を図るための重要なポイントとなりそうだ。

# 5. アンケート調査結果

# GT グラフ

## ■設問1

あなたの塾で対象としている年齢層を教えてください。(複数回答可)



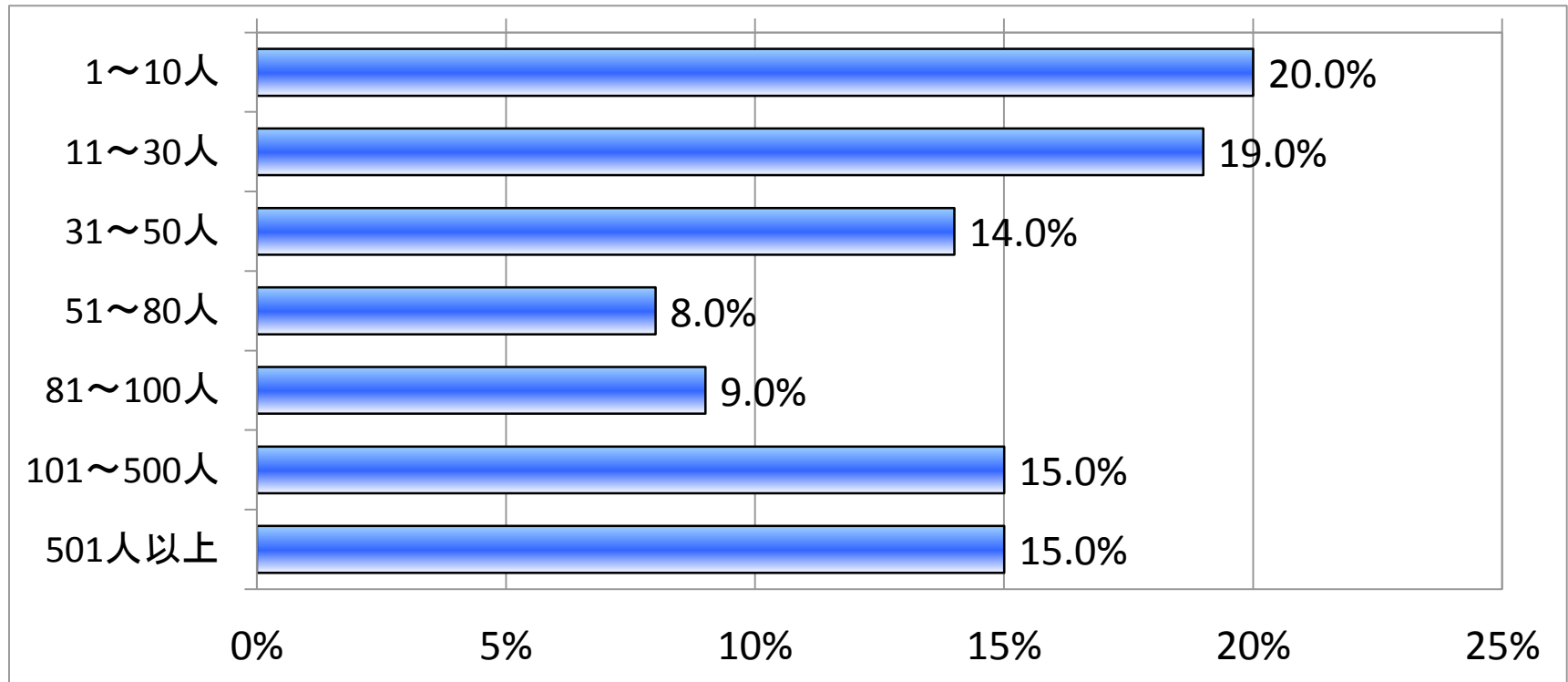
その他…専門学校生、大学生、社会人、一般人、失業中の方や資格取得を目指す方

N=100

- ・回答者は、未就学児から社会人向けの塾に所属する講師。
- ・生徒の年齢は、小学校高学年～高校生がボリュームゾーン。

## ■設問2

あなたの塾の生徒数(およその人数)を教えてください。

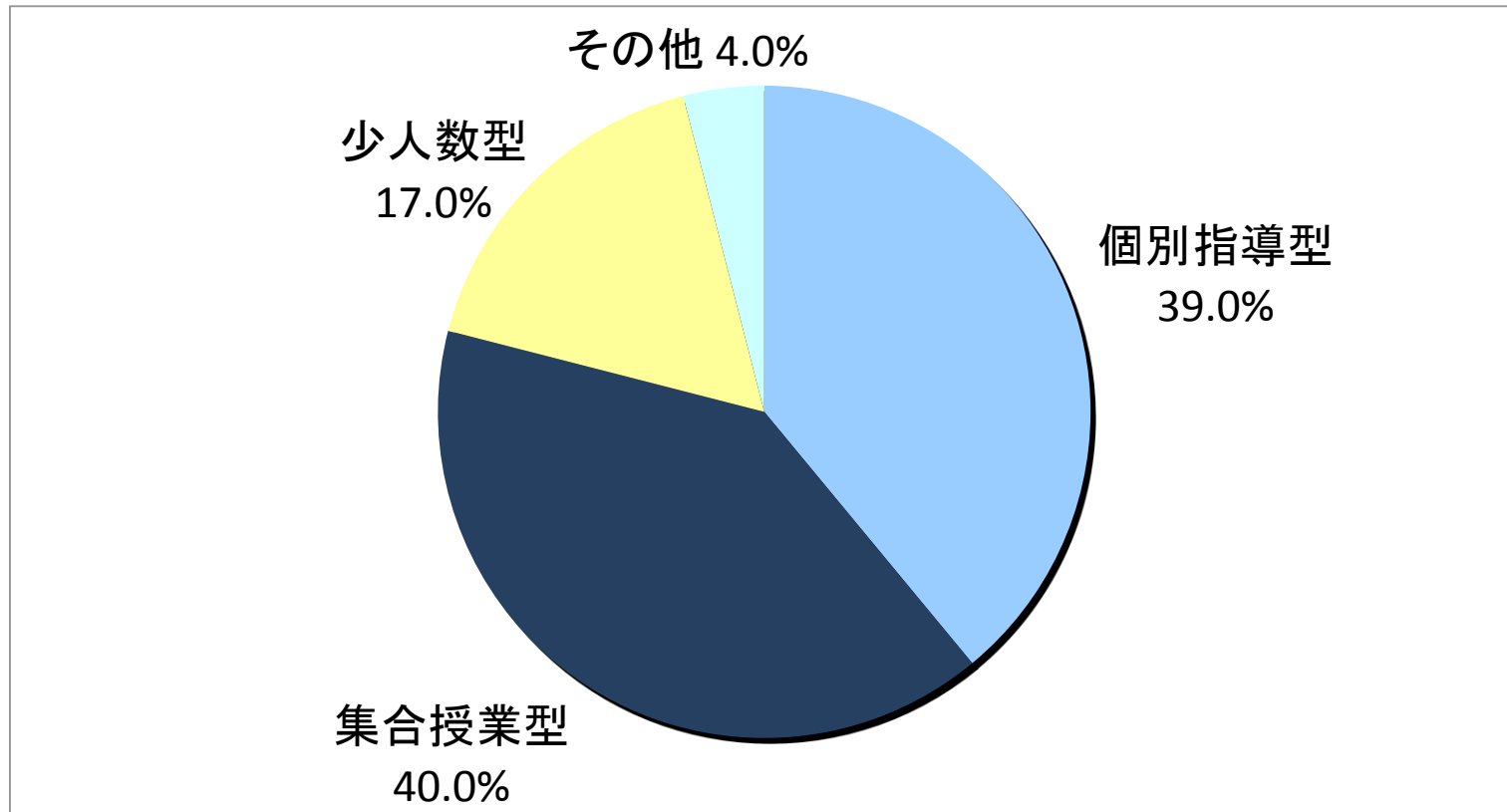


N=100

- ・生徒数は30名以下が39%、101名以上が30%。
- ・回答者が所属する塾は、小規模～大規模まで幅広い。

**■設問3**

あなたの塾の形態を教えてください。



その他…集団授業・個別指導併用型

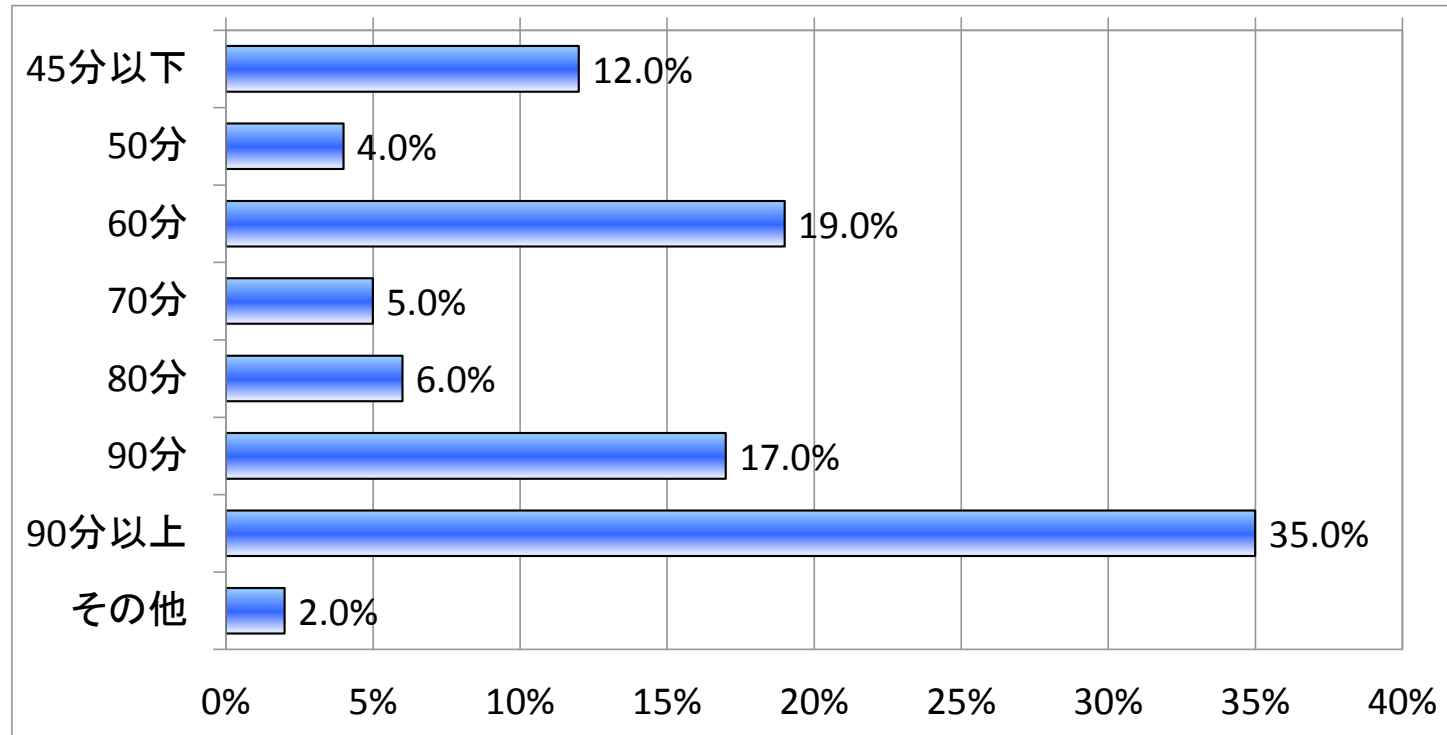
N=100

・集合授業型と個別指導型が拮抗している。



## ■設問4

あなたの塾における1回あたりの授業時間を教えてください。



その他…110分、120分

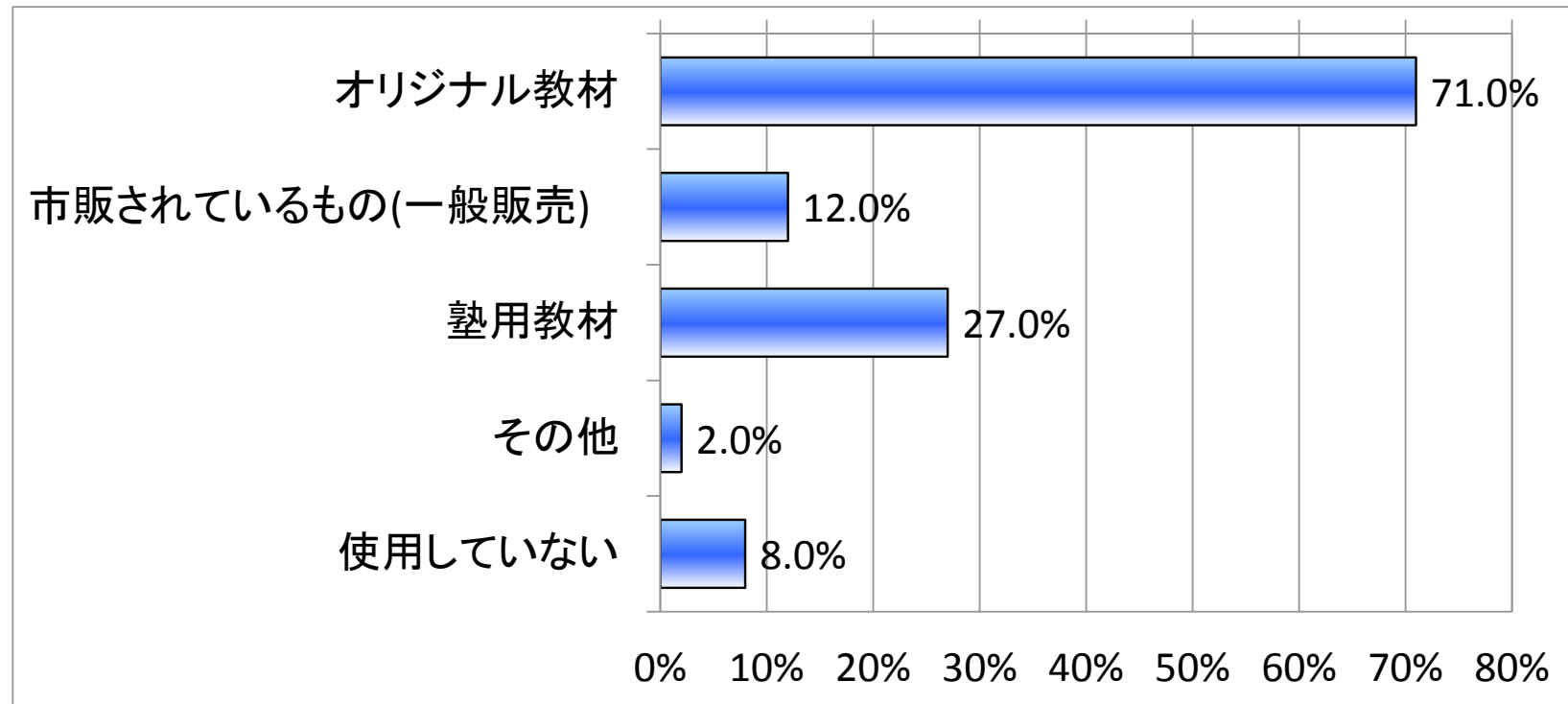
N=100

・1回あたりの授業時間は「90分以上」がもっとも多く35%、次いで「60分」19%、「90分」17%。

## ■設問5

あなたの塾ではどのような形式の教材を使用していますか。  
また、それは誰が作ったものですか？(複数回答可)

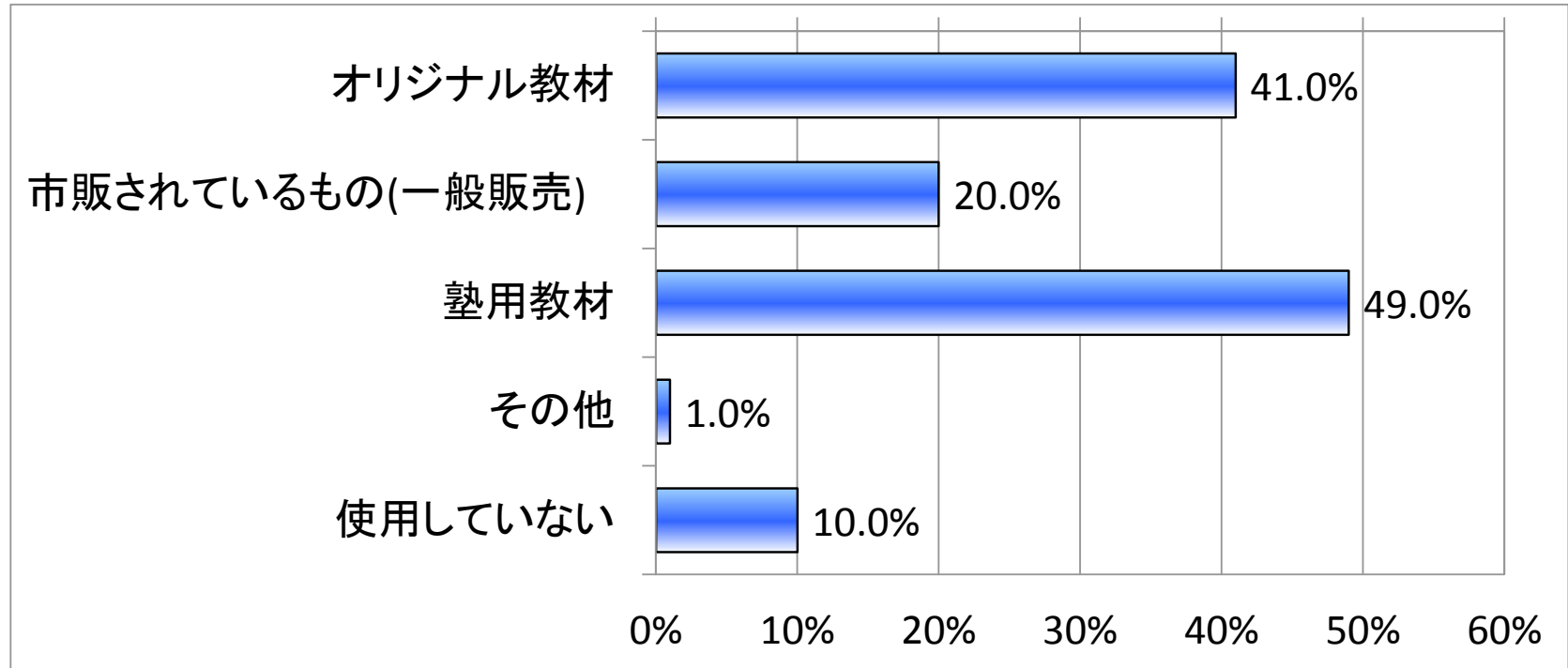
【プリント】



N=100

- ・プリント教材の使用率は92%。
- ・プリント教材の多くは塾で作成されたオリジナルである。

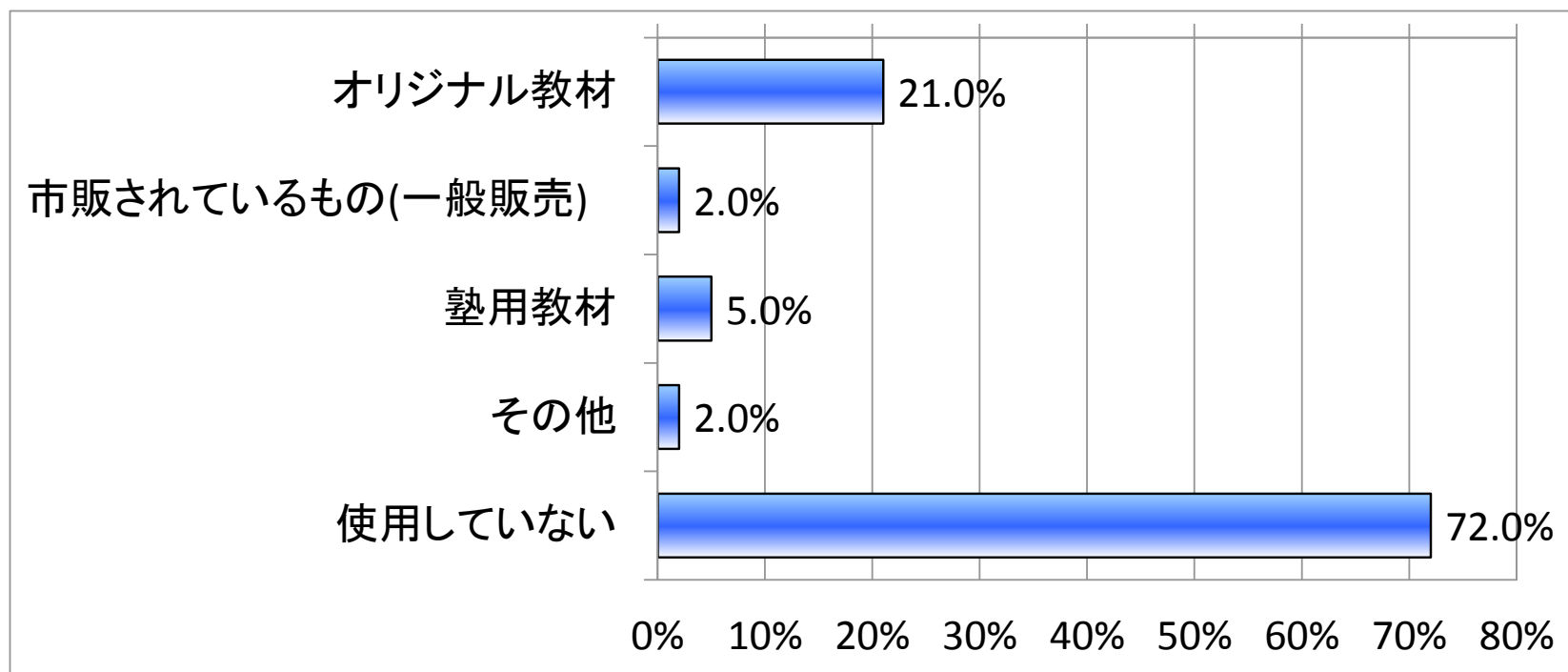
## 【テキスト】



N=100

- ・テキスト教材の使用率は90%。
- ・「塾用教材」と「オリジナル教材」の使用が多い。

## 【映像教材】

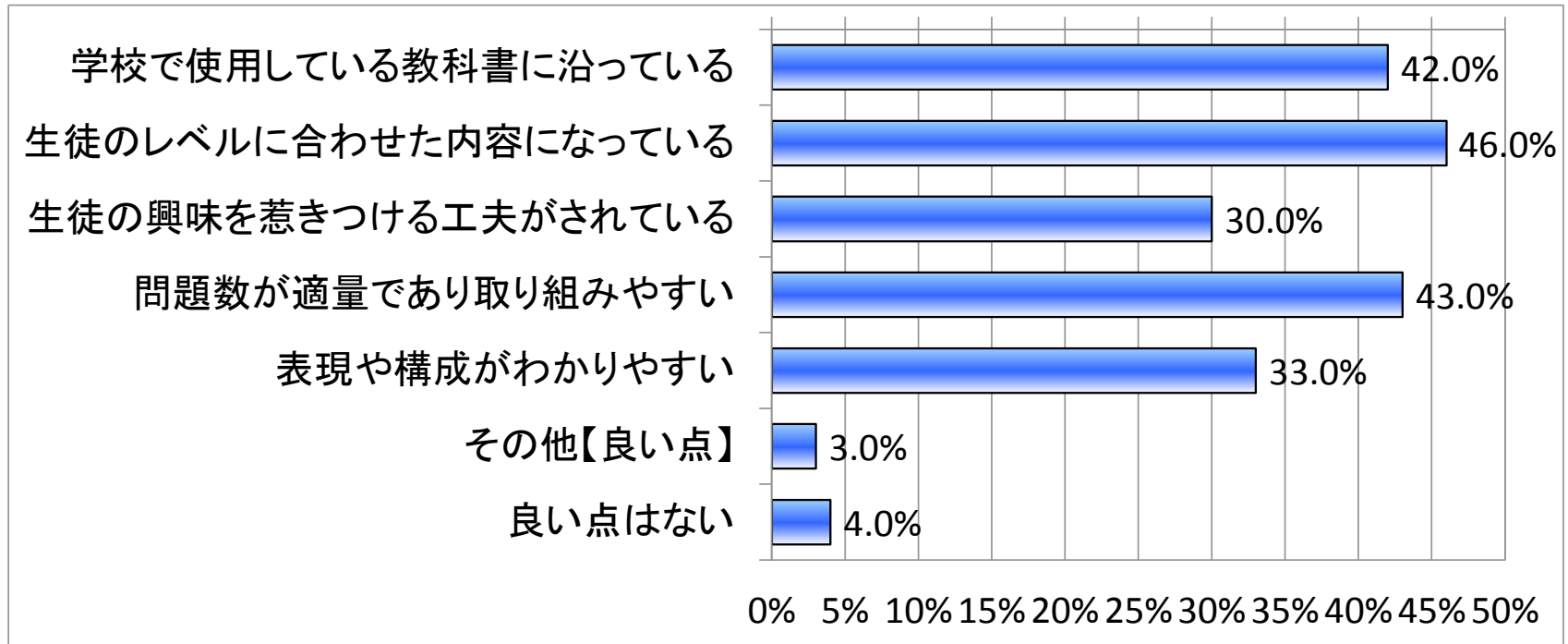


N=100

- ・映像教材の使用率は28%。
- ・塾で作成したオリジナルの映像教材が多く使用されている。

## ■設問6

現在ご使用の教材の長所を教えてください。(複数回答可)



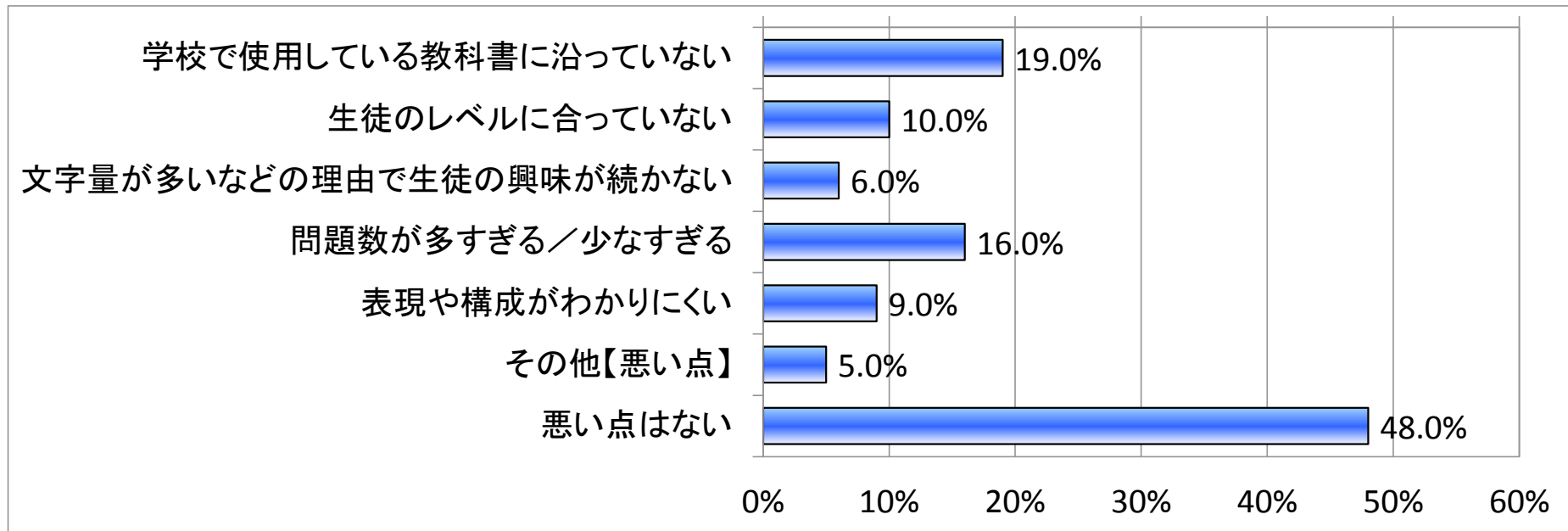
その他…レベルが高い、典型的な問題がひと通り入っている、中学受験用

N=100

- ・講師が考える良い教材の要素トップ3は、「生徒のレベルに合っている」「問題数が適量」「学校の教科書に沿っている」。

## ■設問7

現在ご使用の教材の短所を教えてください。(複数回答可)



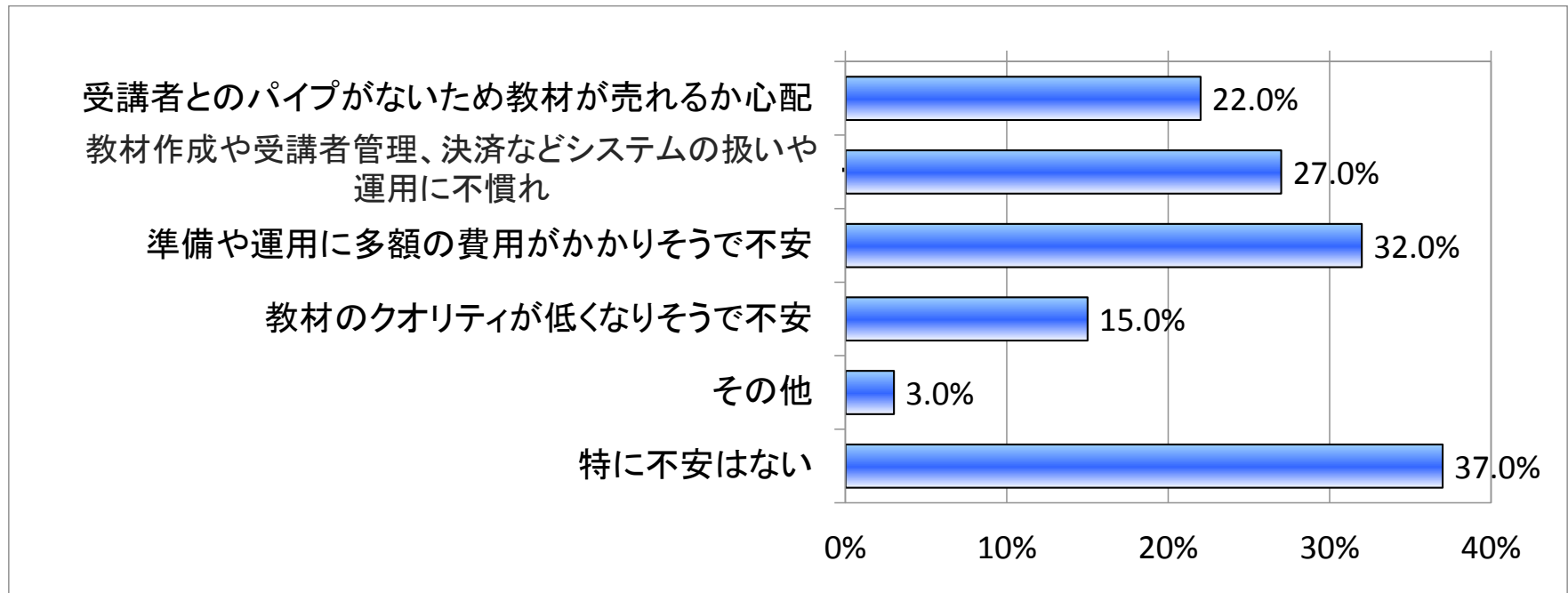
その他…解説が少ない、解説が全くないので独学には不向き、一部移行措置に対応していない、宿題にする問題が分かれていない、国語の解説で時にこじつけに近いものがある

N=100

- ・約半数の講師が「塾の教材に不満はない」と回答。
- ・不満として多かったのは「学校の教科書に沿っていない」「問題数が多すぎる／少なすぎる」。

## ■設問8

あなたの塾の教材をインターネット上で一般に販売する場合、不安に思うことはありますか。  
(複数回答可)



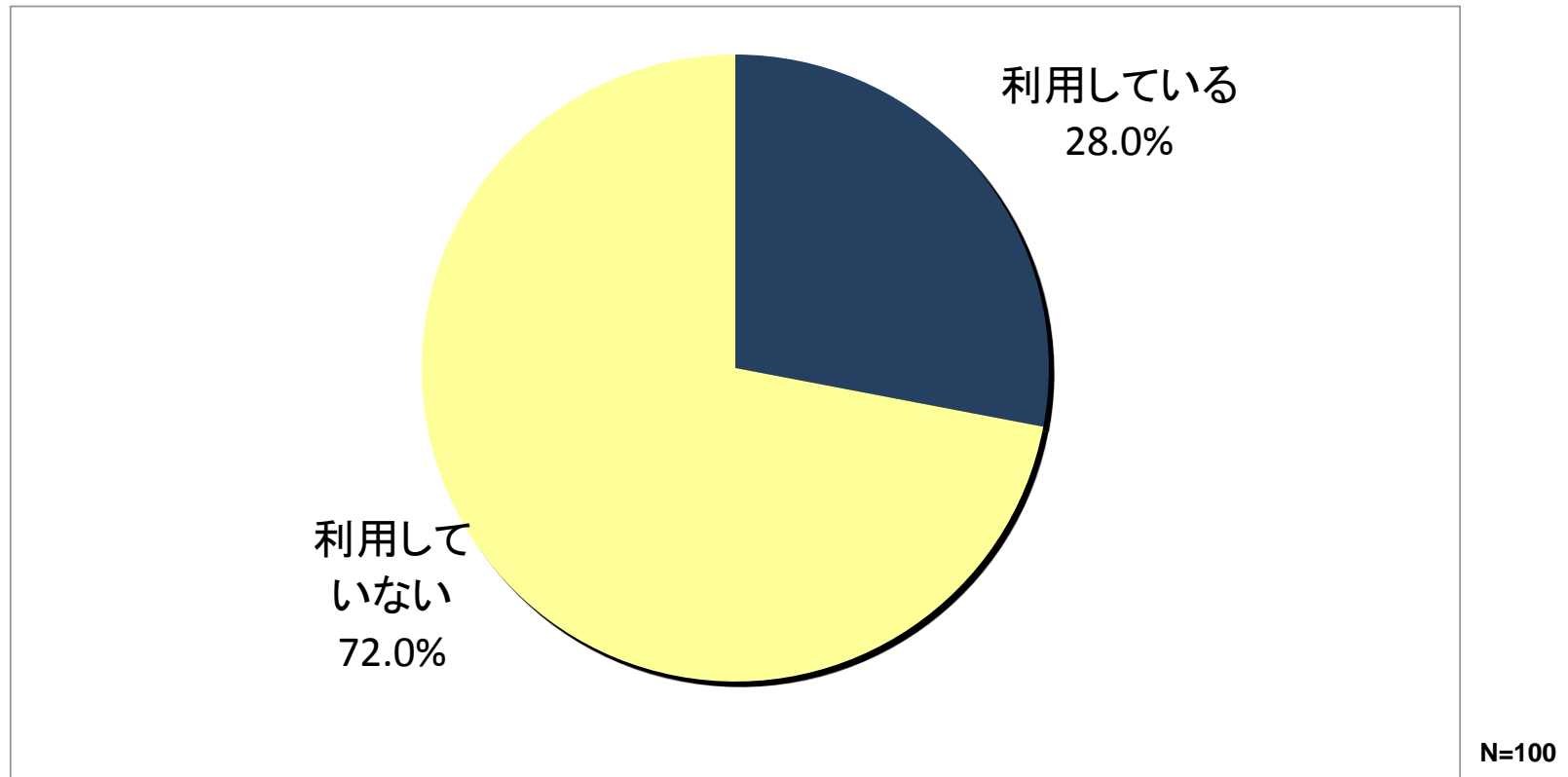
その他…販売の予定はない、販売しようと思わない、教材費を具体的に計算されるようになるので無用なトラブルが増えそう

N=100

- ・コストや運用面、プロモーション面での不安が合わせて81%。
- ・「特に不安はない」の中には、インターネット展開に消極的な層も含まれるものと考えられる。

## ■設問9-1

あなたの塾では授業の際、IT機器(パソコン・タブレット端末・電子黒板・スマートフォン)を利用していますか。

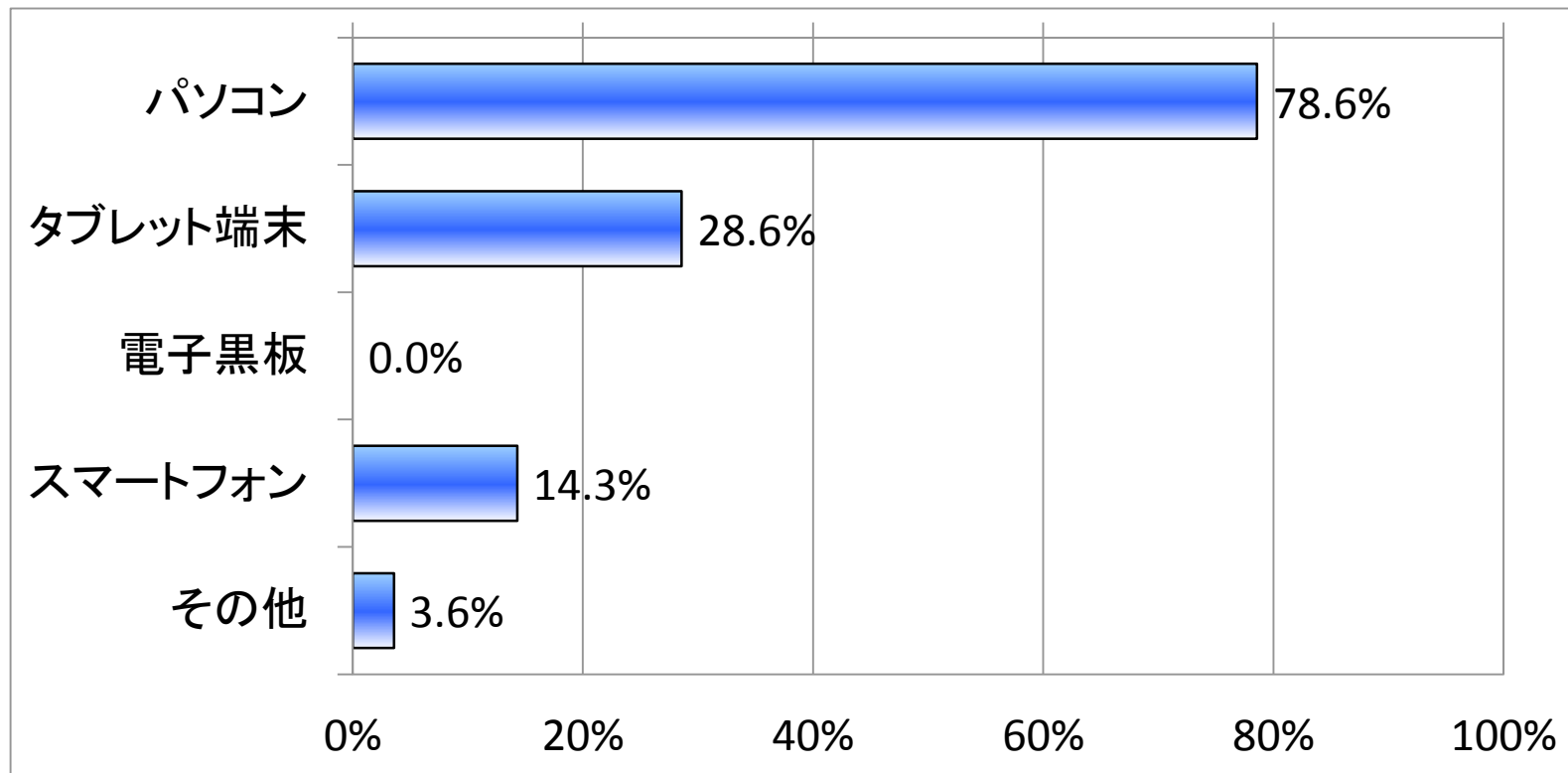


- ・「利用している」は28%、「利用していない」は72%。
- ・3.5人に1人が塾の授業でIT機器を活用している。



## ■設問9-2

「利用している」と答えた方にお聞きします。どのような機器をどのように利用していますか。  
(複数回答可)



その他…液晶ペンタブレット

N=28

- ・「パソコン」の利用率がもっとも高く78.6%、次いで「タブレット端末」が28.6%。
- ・塾における電子黒板の利用は皆無である。

## 【パソコンの利用方法】

PCで画像音声等を生徒に見せながら授業を行っています。

メールで質問受付。適切な検索サイトの周知。課題添削。

無料のテレビ電話ソフトによる個別授業

パソコンで自由にレベルに合わせた問題をプリントアウトできる。

全ての教科をパソコンで行っている。

関数のグラフを書いたり、化学の結合を見せている

辞書代わりに使っている。

WEBのサイト検索術を伝授

オンライン上で質疑応答ができる

成績管理

講義を流している

教室の連絡事項

一部抜粋

- ・オンライン上での質疑応答やテレビ電話ソフトを使った個別授業など、従来の指導の枠を超えた便利なサービスが展開されている。
- ・課題添削や成績管理、情報伝達(連絡)をIT化している塾も多いと見られる。

**【パソコン・タブレット端末の利用方法】**

調べ物、パソコンで映像を見せながら英語の授業  
タブレットで教科に関する映像を見もらう

**【パソコン・その他の利用方法】**

PCのデータを液晶プロジェクターで投影し、ペンタブレットで説明を書き込むなどして授業をしている。

**【タブレット端末の利用方法】**

プリント問題の代替  
タブレットで写真などを見せながら授業。  
説明の追加又は、実験の代わりに映像を見せている

**【スマートフォンの利用方法】**

演奏を録画する

一部抜粋

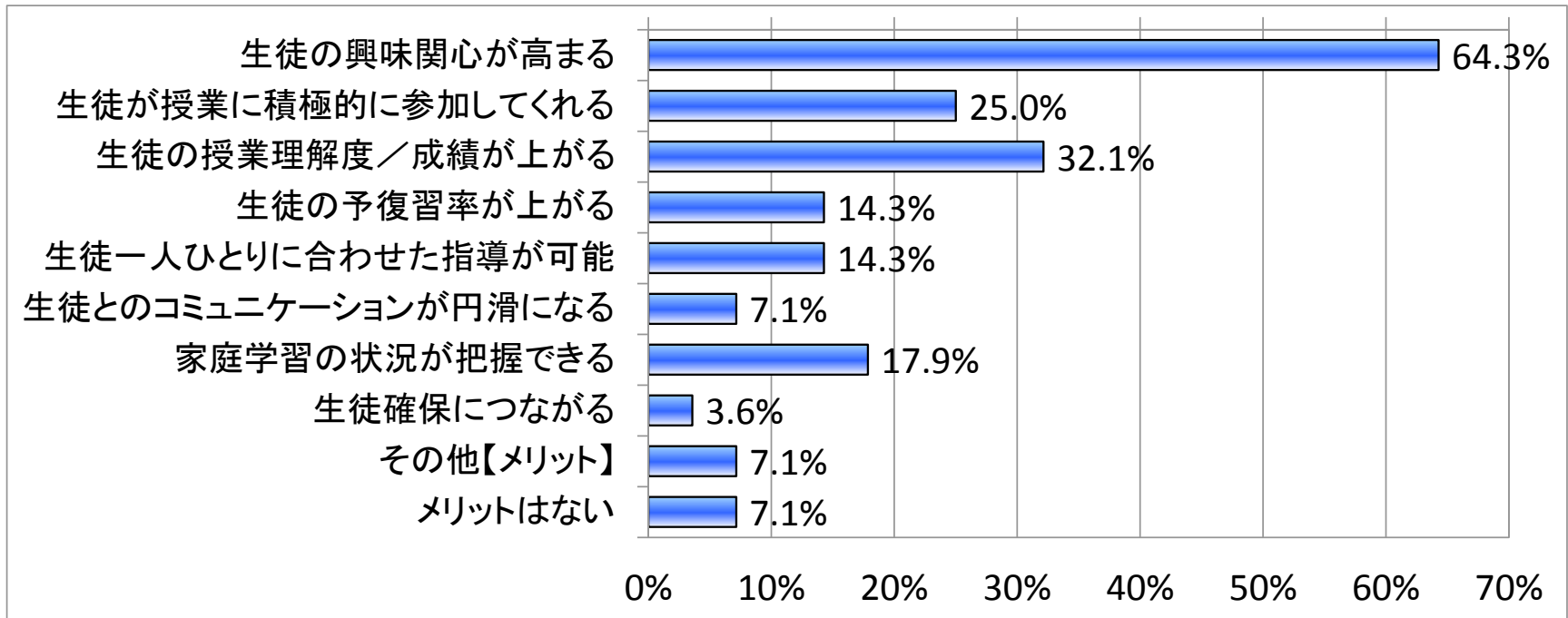
・パソコン×タブレット端末など、複数のIT機器を組み合わせ活用している塾も見られる。

### ■設問9-3

「利用している」と答えた方にお聞きします。

あなたが考える、IT機器を利用するメリット・デメリットは何ですか。

【メリット】

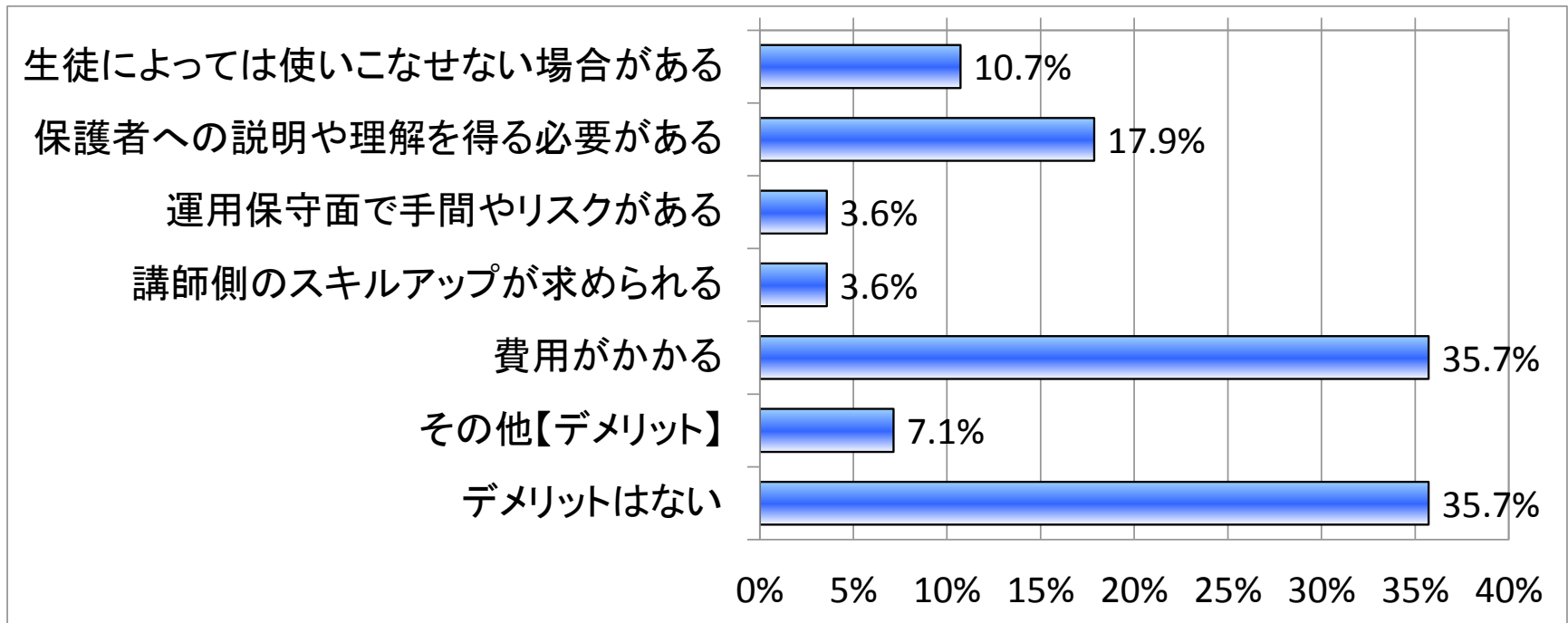


その他…わかりやすい、双方に移動の手間がない

N=28

- ・「生徒の興味関心が高まる」がもっとも多く64.3%。
- ・3人に1人がIT機器の利用により「生徒の授業理解度／成績が上がる」と回答。

## 【デメリット】



その他…準備が大変、PC利用への親御様の理解

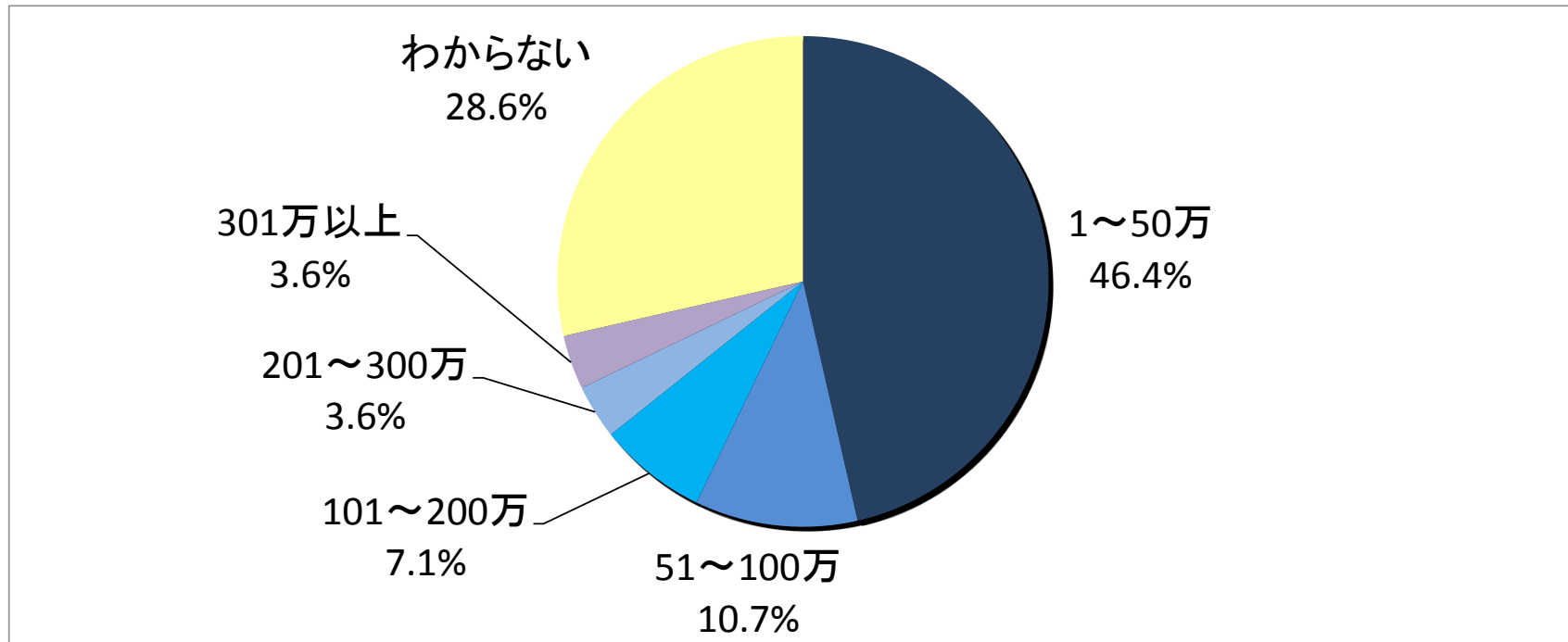
N=28

- ・「費用がかかる」「デメリットはない」が同率1位。
- ・コストや運用面での懸念はあるものの、使用効果上のデメリットは少ないと考える講師が多い。

## ■設問9-4

「利用している」と答えた方にお聞きします。導入費用はどれくらいかかりましたか。  
また、生徒側の金額負担はありますか。

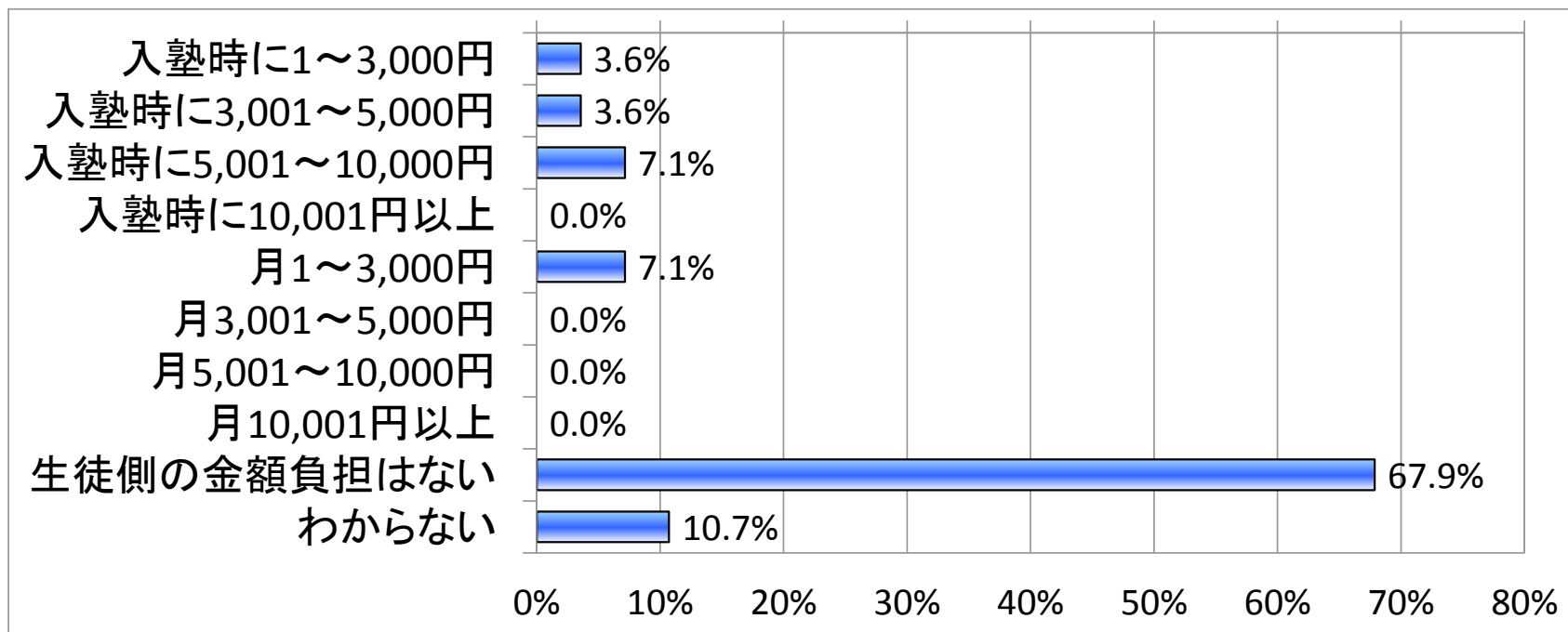
## 【導入費用】



N=28

・導入費用としては、「1~50万」がもっとも多く46.4%。

## 【生徒側の金額負担】

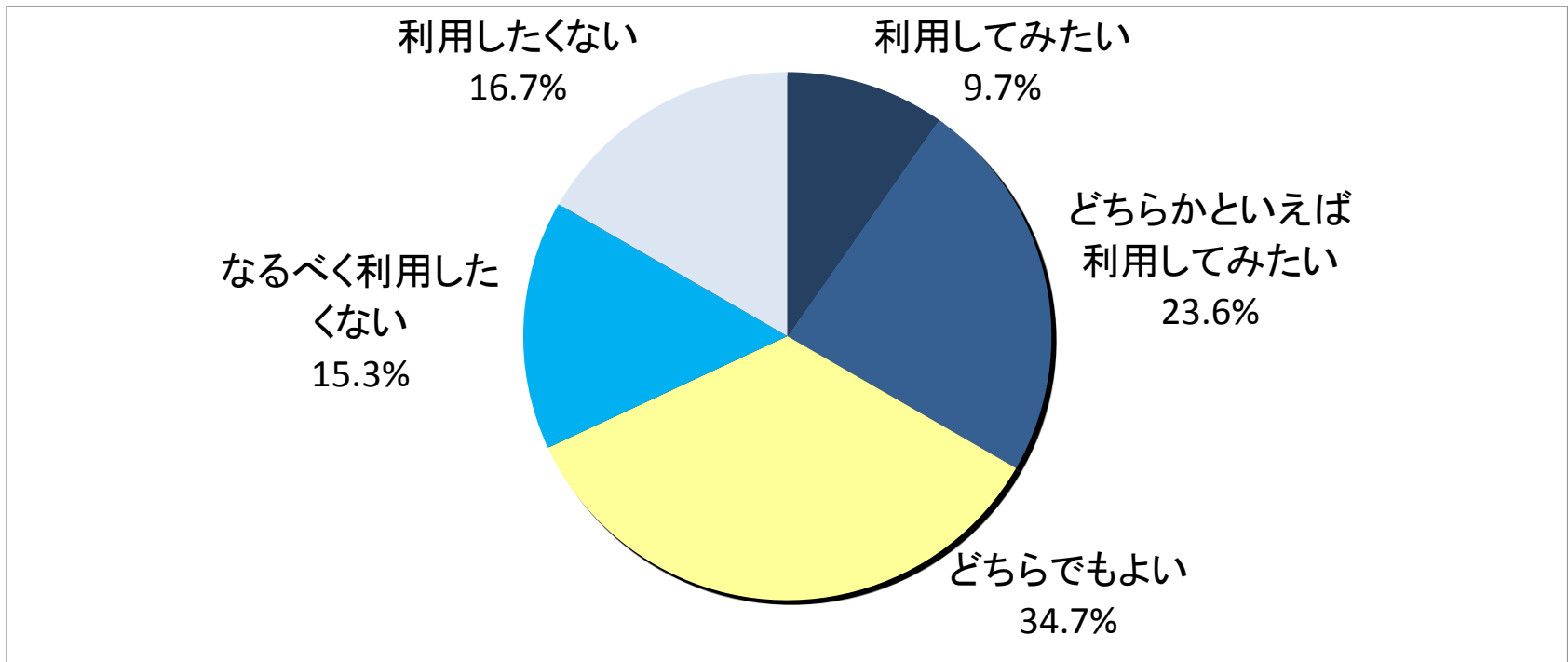


N=28

- ・67.9%の塾で、IT導入時の生徒側の金額負担は「なし」。
- ・生徒側の金額負担がある場合は、「入塾時に10,000円以内」か「月々3,000円以内」が多い。

## ■設問9-5

「利用していない」と答えた方にお聞きします。IT機器を塾でも利用したいですか。またその理由をお答えください。



N=28

・「利用してみたい」が合わせて33.3%、「利用したくない」が合わせて32%、「どちらでもよい」34.7%と意見が分かれた。



## 「利用してみたい・どちらかといえば利用してみたい」と回答した人の理由

視覚に訴える授業も展開したいと考えているので  
 やはり多角的な授業ができるから  
 映像やカラフルな資料でヴィジュアル的にした方がイマ時の子にはわかりやすいだろうから。  
 子供はPCになれ親しんでいる。生身の方が説明するよりも食いつきがいいことが予想される。  
 生徒の興味を引くことができる  
 授業内容が解りやすくなるのであれば、利用してみたい  
 塾生が希望するであろうから。  
 タブレットで科学的な動画見せながら授業したい。  
 理科や社会の資料を簡単に映し出せたら便利だと思う  
 理科は動画を見るのが効果的だから  
 予算が許せば、映像資料を多用して、より異文化を実感してほしい。  
 社会科や科学分野等は目で見て理解が深まることが多いと思うので。  
 板書の代わりになる  
 板書の手間を省くことができるから。

一部抜粋

- ・映像や動画、写真、資料といった“視覚的教材”を効果的に活用した授業に対する期待が高い。
- ・板書の手間を省き、その分指導により力を入れたいという意見も。

## 「どちらでもよい」と回答した人の理由

コストが心配

設備投資して効果が上がるかいまいちわからない

親に認知されていない。

教材として良いものがあれば検討する。

利用できる環境になっていない

まだイメージが湧かないので、何とも言えないから。

あれば便利だが、絶対にいるものでもない。

時間が多く必要だから

活用が難しい

数学には不向きな気がします。

理科などでビジュアル的な説明をしたいときだけ必要性を感じるから。

一部抜粋

- ・「イメージがわからない」「あれば便利だが必ずしも必要ない」という意見が多数。
- ・IT機器を活用するメリットや効果的な授業法に対する認知度が低い。

## 「利用したくない・なるべく利用したくない」と回答した人の理由

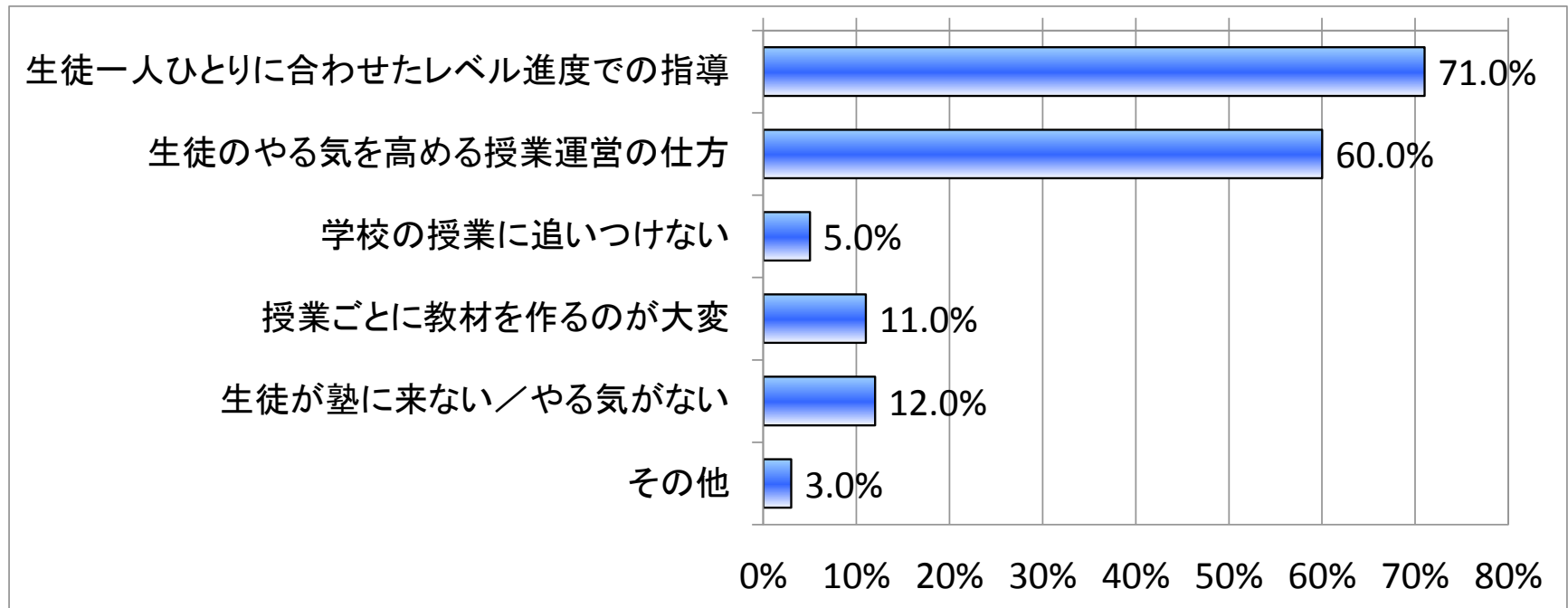
導入コストがかかる、時間当たりの授業密度が下がりそう
設備投資に費用がかさむから
お金がかかることはしたくない
指導者とのコンタクトが減少する。
個別の1対1授業なので必要が無い。
直接の指導が子供には効果的だと考えるため。
自分流のメソッドを確立している為必要ない、また生徒を混乱させてしまう恐れがある為。
パソコン教材は、現場の人間が作ったものではないため、柔軟性に欠ける。
生身の授業が塾の主体になっているので。
使用するのが難しそう
設備費がかかる
個別に近い状態でみているのでIT機器は必要ない
少人数なので必要ない。コストが合わない。

一部抜粋

- ・IT導入に消極的な最大の理由は「コスト」。
- ・個別指導や直接指導に力を入れているため、IT機器は必要ないという意見も多かった。

## ■設問10

生徒に指導する際の課題を教えてください。(複数回答可)



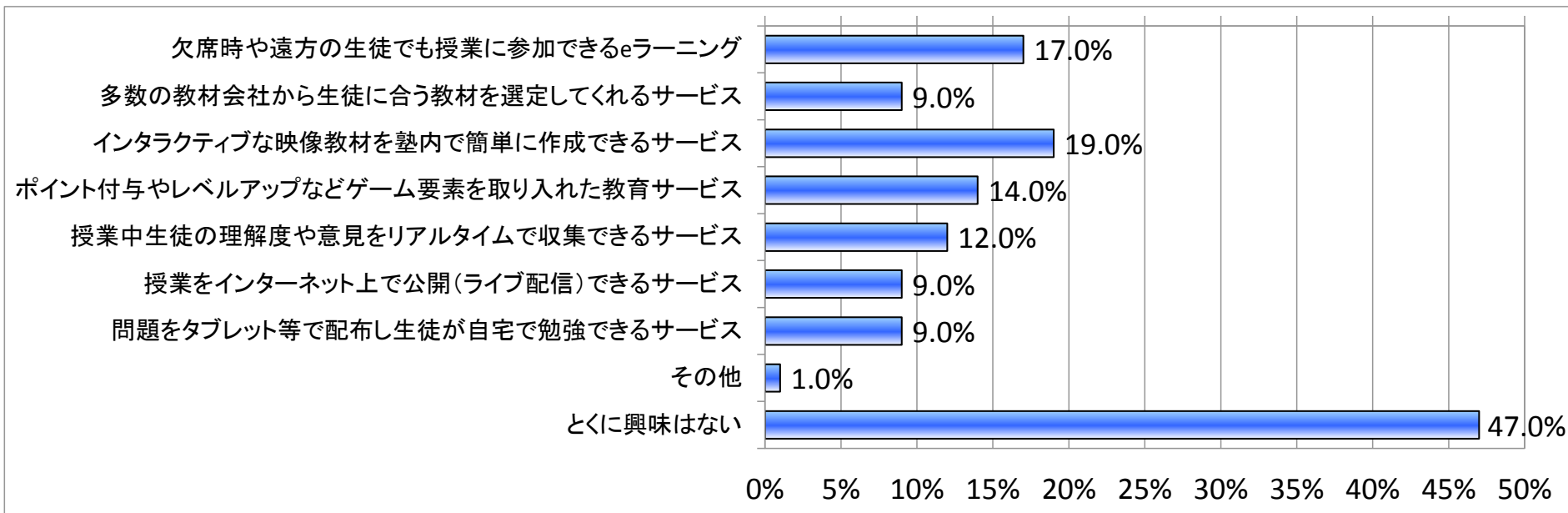
その他…生徒によって学校・クラスでの授業進度が極端に違うことが多く(特に国語)大変指導しづらい、全員の到達度を確認するのが大変、家庭と一致した認識を持つこと。

N=100

・「生徒一人ひとりに合わせた指導法」や「生徒のやる気を高める授業運営」に対する関心が高い。

## ■設問11

様々な教育ITサービスが登場していますが、塾での活用に興味はありますか。  
興味があるサービスがあればお選びください。(複数回答可)



その他…副教科を扱うもの

N=100

・「映像教材を簡単作成できるサービス」「遠方の生徒でも授業参加できるeラーニング」への興味が比較的高い。

## ■設問12

今後学習塾でのIT活用に期待すること、または課題をお答えください。(自由回答)

IT活用への期待	板書や添削等に画像や手元のカメラ、パワーポイントが使える状況になればもっとアカデミックな授業になると思う
	授業のマンネリ化を変えることができそう
	欠席した生徒に授業風景を伝送できることが可能になれば良い効果が期待できます。
	過去プリント内容の保存と分析
	低成績層の学力引上げ
	遠隔での授業。
	資料を映像で見せることが出来るようになると良いと思います。
	ITを使うことによって生徒が講義を理解できるようになる
	参考資料などをネットで見せたい
	算数・数学では、図形を立体的に映像化できる。英語はネイティブな発音を聞かせられる。
	安価なランニングコストで導入できるIT教材の登場を願う
	模範演奏を手軽にみる事が出来る
	識字障害者には有効かも知れない
塾側がしっかりITを知り、塾生のためにうまく利用したい。	
資料提供としてITを活用する一方で、「学ぶ」過程はIT化せず「書く・調べる」など手間ひまをかけて作業することで実力を定着させるべき。映像を見ただけで勉強した気になってしまわないよう役割に応じて住み分けをする。	

- ・IT活用により、生徒の学習意欲や成績が向上することが期待されている。
- ・講師・塾側のIT活用に対する理解が必要不可欠である。

今後の課題	インフラ整備とPCやタブレットなどの費用
	低価格で使用できること
	導入時の初期費用がかかりすぎる
	教材レベル向上
	万能のモノはない、生徒のニーズが多様すぎる。
	子どもたちが食いつくデザインや内容にして欲しい
	機器を間に挟むよりは、生身の指導が大切だと思う
	どんなにIT化が進んでも個別指導の重要性は不可欠である。
	一方通行的な映像教材になってしまう可能性がある。エンターテインメントに走り、本質がずれる。顧客だけが増えても、質問対応などのフォローができない。
	IT機器は生徒が個人で活用すべきだと思う。
	受動的な指導になってしまい、生徒の自ら進んで考えたりする力が育たないこと。
	人が人を教えることが大切
	試験ベースは紙なので、タブレットで覚えたことによる影響があるのかどうか不安です。
	DVDだけでなく昔の資料も再生できるようVHSやカセットプレーヤーも引き続き設置してほしい。
	自分自身のITのスキルが高くなければ導入しても使いこなせないという恐れが二の足を踏ませている。
一方的に映像や問題、説明を流すだけでは不安。質問や疑問に即対応できないとやはり使うのは難しいかも	

- ・生徒が受け身になってしまうのではと懸念する声も。
- ・従来の個別指導や直接指導の利点を残しつつ、生徒自らが主体的に考え、学べるIT導入が望ましい。

その他	ほんとうに効果のあるIT教育法が知りたいです。
	ネット配信型の小中学生対象の学習塾が成功するのはまだ先のことだと思う。
	塾にパソコンを設置して使うものはスペースや生徒人数的に無理があるので、生徒自宅のPCに配信されるものがよいのではないか。

・効果的なIT活用教育法の周知や環境整備が必要不可欠である。



# G T 表

---

## ■設問1

あなたの塾で対象としている年齢層を教えてください。(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	未就学児	12	12.0%
2	小学1～3年生	36	36.0%
3	小学4～6年生	68	68.0%
4	中学生	72	72.0%
5	高校生	64	64.0%
6	浪人生	24	24.0%
7	その他	11	11.0%

その他…専門学校生、大学生、社会人、一般人、失業中の方や資格取得を目指す方

- ・回答者は、未就学児から社会人向けの塾に所属する講師。
- ・生徒の年齢は、小学校高学年～高校生がボリュームゾーン。

## ■設問2

あなたの塾の生徒数(おおよその人数)を教えてください。

		N	%
全体		100	100.0%
1	1～10人	20	20.0%
2	11～30人	19	19.0%
3	31～50人	14	14.0%
4	51～80人	8	8.0%
5	81～100人	9	9.0%
6	101～500人	15	15.0%
7	501人以上	15	15.0%

- ・生徒数は30名以下が39%、101名以上が30%。
- ・回答者が所属する塾は、小規模～大規模まで幅広い。

### ■設問3

あなたの塾の形態を教えてください。

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	個別指導型	39	39.0%
2	集合授業型	40	40.0%
3	少人数型	17	17.0%
4	その他	4	4.0%

その他…集団授業・個別指導併用型

・集合授業型と個別指導型が拮抗している。

## ■設問4

あなたの塾における1回あたりの授業時間を教えてください。

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	45分以下	12	12.0%
2	50分	4	4.0%
3	60分	19	19.0%
4	70分	5	5.0%
5	80分	6	6.0%
6	90分	17	17.0%
7	90分以上	35	35.0%
8	その他	2	2.0%

その他…110分、120分

・1回あたりの授業時間は「90分以上」がもっとも多く35%、次いで「60分」19%、「90分」17%。

## ■設問5

あなたの塾ではどのような形式の教材を使用していますか。  
また、それは誰が作ったものですか？(複数回答可)

【プリント】

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	オリジナル教材	71	71.0%
2	市販されているもの(一般販売)	12	12.0%
3	塾用教材	27	27.0%
4	その他	2	2.0%
5	使用していない	8	8.0%

- ・プリント教材の使用率は92%。
- ・プリント教材の多くは塾で作成されたオリジナルである。

## 【テキスト】

		N	%
全体		100	100.0%
1	オリジナル教材	41	41.0%
2	市販されているもの(一般販売)	20	20.0%
3	塾用教材	49	49.0%
4	その他	1	1.0%
5	使用していない	10	10.0%

- ・テキスト教材の使用率は90%。
- ・「塾用教材」と「オリジナル教材」の使用が多い。

## 【映像教材】

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	オリジナル教材	21	21.0%
2	市販されているもの(一般販売)	2	2.0%
3	塾用教材	5	5.0%
4	その他	2	2.0%
5	使用していない	72	72.0%

- ・映像教材の使用率は28%。
- ・塾で作成したオリジナルの映像教材が多く使用されている。



## ■設問6

現在ご使用の教材の長所を教えてください。(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	学校で使用している教科書に沿っている	42	42.0%
2	生徒のレベルに合わせた内容になっている	46	46.0%
3	生徒の興味を惹きつける工夫がされている	30	30.0%
4	問題数が適量であり取り組みやすい	43	43.0%
5	表現や構成がわかりやすい	33	33.0%
6	その他【良い点】	3	3.0%
7	良い点はない	4	4.0%

その他…レベルが高い、典型的な問題がひと通り入っている、中学受験用

- ・講師が考える良い教材の要素トップ3は、「生徒のレベルに合っている」「問題数が適量」「学校の教科書に沿っている」。

## ■設問7

現在ご使用の教材の短所を教えてください。(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	学校で使用している教科書に沿っていない	19	19.0%
2	生徒のレベルに合っていない	10	10.0%
3	文字量が多いなどの理由で生徒の興味が続かない	6	6.0%
4	問題数が多すぎる／少なすぎる	16	16.0%
5	表現や構成がわかりにくい	9	9.0%
6	その他【悪い点】	5	5.0%
7	悪い点はない	48	48.0%

その他…解説が少ない、解説が全くないので独学には不向き、一部移行措置に対応していない、宿題にする問題が分かれていない、国語の解説で時にこじつけに近いものがある

- ・約半数の講師が「塾の教材に不満はない」と回答。
- ・不満として多かったのは「学校の教科書に沿っていない」「問題数が多すぎる／少なすぎる」。

## ■設問8

あなたの塾の教材をインターネット上で一般に販売する場合、不安に思うことはありますか。  
(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	受講者とのパイプがないため教材が売れるか心配	22	22.0%
2	教材作成や受講者管理、決済など各種システムの扱いや運用に不慣れ	27	27.0%
3	準備や運用に多額の費用がかかりそうで不安	32	32.0%
4	教材のクオリティが低くなりそうで不安	15	15.0%
5	その他	3	3.0%
6	特に不安はない	37	37.0%

その他…販売の予定はない、販売しようと思わない、教材費を具体的に計算されるようになるので無用なトラブルが増えそう

- ・コストや運用面、プロモーション面での不安が合わせて81%。
- ・「特に不安はない」の中には、インターネット展開に消極的な層も含まれるものと考えられる。

**■設問9-1**

あなたの塾では授業の際、IT機器(パソコン・タブレット端末・電子黒板・スマートフォン)を利用していますか。

		N	%
全体		100	100.0%
1	利用している	28	28.0%
2	利用していない	72	72.0%

- ・「利用している」は28%、「利用していない」は72%。
- ・3.5人に1人が塾の授業でIT機器を活用している。

## ■設問9-2

「利用している」と答えた方にお聞きします。どのような機器をどのように利用していますか。  
(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		28	100.0%
1	パソコン	22	78.6%
2	タブレット端末	8	28.6%
3	電子黒板	0	0.0%
4	スマートフォン	4	14.3%
5	その他	1	3.6%

その他…液晶ペンタブレット

- ・「パソコン」の利用率がもっとも高く78.6%、次いで「タブレット端末」が28.6%。
- ・塾における電子黒板の利用は皆無である。

## 【パソコンの利用方法】

PCで画像音声等を生徒に見せながら授業を行っています。
メールで質問受付。適切な検索サイトの周知。課題添削。
無料のテレビ電話ソフトによる個別授業
パソコンで自由にレベルに合わせた問題をプリントアウトできる。
全ての教科をパソコンで行っている。
関数のグラフを書いたり、化学の結合を見せている
辞書代わりに使っている。
WEBのサイト検索術を伝授
オンライン上で質疑応答ができる
成績管理
講義を流している
教室の連絡事項

一部抜粋

- ・オンライン上での質疑応答やテレビ電話ソフトを使った個別授業など、従来の指導の枠を超えた便利なサービスが展開されている。
- ・課題添削や成績管理、情報伝達(連絡)をIT化している塾も多いと見られる。

**【パソコン・タブレット端末の利用方法】**

調べ物、パソコンで映像を見せながら英語の授業  
タブレットで教科に関する映像を見もらう

**【パソコン・その他の利用方法】**

PCのデータを液晶プロジェクターで投影し、ペンタブレットで説明を書き込むなどして授業をしている。

**【タブレット端末の利用方法】**

プリント問題の代替  
タブレットで写真などを見せながら授業。  
説明の追加又は、実験の代わりに映像を見せている

**【スマートフォンの利用方法】**

演奏を録画する

一部抜粋

・パソコン×タブレット端末など、複数のIT機器を組み合わせ活用している塾も見られる。

### ■設問9-3

「利用している」と答えた方にお聞きします。

あなたが考える、IT機器を利用するメリット・デメリットは何ですか。

【メリット】

		N	%
<b>全体</b>		28	100.0%
1	生徒の興味関心が高まる	18	64.3%
2	生徒が授業に積極的に参加してくれる	7	25.0%
3	生徒の授業理解度／成績が上がる	9	32.1%
4	生徒の予復習率が上がる	4	14.3%
5	生徒一人ひとりに合わせた指導が可能	4	14.3%
6	生徒とのコミュニケーションが円滑になる	2	7.1%
7	家庭学習の状況が把握できる	5	17.9%
8	生徒確保につながる	1	3.6%
9	その他【メリット】	2	7.1%
10	メリットはない	2	7.1%

その他…わかりやすい、双方に移動の手間がない

- ・「生徒の興味関心が高まる」がもっとも多く64.3%。
- ・3人に1人がIT機器の利用により「生徒の授業理解度/成績が上がる」と回答。



## 【デメリット】

		N	%
<b>全体</b>		28	100.0%
1	生徒によっては使いこなせない場合がある	3	10.7%
2	保護者への説明や理解を得る必要がある	5	17.9%
3	運用保守面で手間やリスクがある	1	3.6%
4	講師側のスキルアップが求められる	1	3.6%
5	費用がかかる	10	35.7%
6	その他【デメリット】	2	7.1%
7	デメリットはない	10	35.7%

その他…準備が大変、PC利用への親御様の理解

- ・「費用がかかる」「デメリットはない」が同率1位。
- ・コストや運用面での懸念はあるものの、使用効果上のデメリットは少ないと考える講師が多い。

## ■設問9-4

「利用している」と答えた方にお聞きします。導入費用はどれくらいかかりましたか。  
また、生徒側の金額負担はありますか。

### 【導入費用】

		N	%
全体		28	100.0%
1	1～50万	13	46.4%
2	51～100万	3	10.7%
3	101～200万	2	7.1%
4	201～300万	1	3.6%
5	301万以上	1	3.6%
6	わからない	8	28.6%

・導入費用としては、「1～50万」がもっとも多く46.4%。

## 【生徒側の金額負担】

		N	%
<b>全体</b>		28	100.0%
1	入塾時に1～3,000円	1	3.6%
2	入塾時に3,001～5,000円	1	3.6%
3	入塾時に5,001～10,000円	2	7.1%
4	入塾時に10,001円以上	0	0.0%
5	月1～3,000円	2	7.1%
6	月3,001～5,000円	0	0.0%
7	月5,001～10,000円	0	0.0%
8	月10,001円以上	0	0.0%
9	生徒側の金額負担はない	19	67.9%
10	わからない	3	10.7%

- ・67.9%の塾で、IT導入時の生徒側の金額負担は「なし」。
- ・生徒側の金額負担がある場合は、「入塾時に10,000円以内」か「月々3,000円以内」が多い。

### ■設問9-5

「利用していない」と答えた方にお聞きします。IT機器を塾でも利用したいですか。またその理由をお答えください。

		N	%
全体		72	100.0%
1	利用してみたい	7	9.7%
2	どちらかといえば利用してみたい	17	23.6%
3	どちらでもよい	25	34.7%
4	なるべく利用したくない	11	15.3%
5	利用したくない	12	16.7%

・「利用してみたい」が合わせて33.3%、「利用したくない」が合わせて32%、「どちらでもよい」34.7%と意見が分かれた。

## 「利用してみたい・どちらかといえば利用してみたい」と回答した人の理由

視覚に訴える授業も展開したいと考えているので  
 やはり多角的な授業ができるから  
 映像やカラフルな資料でヴィジュアル的にした方がイマ時の子にはわかりやすいだろうから。  
 子供はPCになれ親しんでいる。生身の方が説明するよりも食いつきがいいことが予想される。  
 生徒の興味を引くことができる  
 授業内容が解りやすくなるのであれば、利用してみたい  
 塾生が希望するであろうから。  
 タブレットで科学的な動画見せながら授業したい。  
 理科や社会の資料を簡単に映し出せたら便利だと思う  
 理科は動画を見るのが効果的だから  
 予算が許せば、映像資料を多用して、より異文化を実感してほしい。  
 社会科や科学分野等は目で見て理解が深まることが多いと思うので。  
 板書の代わりになる  
 板書の手間を省くことができるから。

一部抜粋

- ・映像や動画、写真、資料といった“視覚的教材”を効果的に活用した授業に対する期待が高い。
- ・板書の手間を省き、その分指導により力を入れたいという意見も。

## 「どちらでもよい」と回答した人の理由

コストが心配

設備投資して効果が上がるかいまいちわからない

親に認知されていない。

教材として良いものがあれば検討する。

利用できる環境になっていない

まだイメージが湧かないので、何とも言えないから。

あれば便利だが、絶対にいるものでもない。

時間が多く必要だから

活用が難しい

数学には不向きな気がします。

理科などでビジュアル的な説明をしたいときだけ必要性を感じるから。

一部抜粋

- ・「イメージがわからない」「あれば便利だが必ずしも必要ない」という意見が多数。
- ・IT機器を活用するメリットや効果的な授業法に対する認知度が低い。

## 「利用したくない・なるべく利用したくない」と回答した人の理由

導入コストがかかる、時間当たりの授業密度が下がりそう
設備投資に費用がかさむから
お金がかかることはしたくない
指導者とのコンタクトが減少する。
個別の1対1授業なので必要が無い。
直接の指導が子供には効果的だと考えるため。
自分流のメソッドを確立している為必要ない、また生徒を混乱させてしまう恐れがある為。
パソコン教材は、現場の人間が作ったものではないため、柔軟性に欠ける。
生身の授業が塾の主体になっているので。
使用するのが難しそう
設備費がかかる
個別に近い状態でみているのでIT機器は必要ない
少人数なので必要ない。コストが合わない。

一部抜粋

- ・IT導入に消極的な最大の理由は「コスト」。
- ・個別指導や直接指導に力を入れているため、IT機器は必要ないという意見も多かった。

## ■設問10

生徒に指導する際の課題を教えてください。(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	生徒一人ひとりに合わせたレベル進度での指導	71	71.0%
2	生徒のやる気を高める授業運営の仕方	60	60.0%
3	学校の授業に追いつけない	5	5.0%
4	授業ごとに教材を作るのが大変	11	11.0%
5	生徒が塾に来ない／やる気がない	12	12.0%
6	その他	3	3.0%

その他…生徒によって学校・クラスでの授業進度が極端に違うことが多く(特に国語)大変指導しづらい、全員の到達度を確認するのが大変、家庭と一致した認識を持つこと。

・「生徒一人ひとりに合わせた指導法」や「生徒のやる気を高める授業運営」に対する関心が高い。



## ■設問11

様々な教育ITサービスが登場していますが、塾での活用に興味はありますか。  
興味があるサービスがあればお選びください。(複数回答可)

		N	%
<b>全体</b>		100	100.0%
1	欠席時や遠方の生徒でも授業に参加できるeラーニング	17	17.0%
2	多数の教材会社から生徒に合う教材を選定してくれるサービス	9	9.0%
3	インタラクティブな映像教材を塾内で簡単に作成できるサービス	19	19.0%
4	ポイント付与やレベルアップなどゲーム要素を取り入れた教育サービス	14	14.0%
5	授業中生徒の理解度や意見をリアルタイムで収集できるサービス	12	12.0%
6	授業をインターネット上で公開(ライブ配信)できるサービス	9	9.0%
7	問題をタブレット等で配布し生徒が自宅で勉強できるサービス	9	9.0%
8	その他	1	1.0%
9	とくに興味はない	47	47.0%

その他…副教科を扱うもの

・「映像教材を簡単作成できるサービス」「遠方の生徒でも授業参加できるeラーニング」への興味が比較的高い。

## ■設問12

今後学習塾でのIT活用に期待すること、または課題をお答えください。(自由回答)

IT活用への期待	板書や添削等に画像や手元のカメラ、パワーポイントが使える状況になればもっとアカデミックな授業になると思う
	授業のマンネリ化を変えることができそう
	欠席した生徒に授業風景を伝送できることが可能になれば良い効果が期待できます。
	過去プリント内容の保存と分析
	低成績層の学力引上げ
	遠隔での授業。
	資料を映像で見せることが出来るようになると思います。
	ITを使うことによって生徒が講義を理解できるようになる
	参考資料などをネットで見せたい
	算数・数学では、図形を立体的に映像化できる。英語はネイティブな発音を聞かせられる。
	安価なランニングコストで導入できるIT教材の登場を願う
	模範演奏を手軽にみる事が出来る
	識字障害者には有効かも知れない
塾側がしっかりITを知り、塾生のためにうまく利用したい。	
資料提供としてITを活用する一方で、「学ぶ」過程はIT化せず「書く・調べる」など手間ひまをかけて作業することで実力を定着させるべき。映像を見ただけで勉強した気になってしまわないよう役割に応じて住み分けをする。	

- ・IT活用により、生徒の学習意欲や成績が向上することが期待されている。
- ・講師・塾側のIT活用に対する理解が必要不可欠である。

今後の課題	インフラ整備とPCやタブレットなどの費用
	低価格で使用できること
	導入時の初期費用がかかりすぎる
	教材レベル向上
	万能のモノはない、生徒のニーズが多様すぎる。
	子どもたちが食いつくデザインや内容にして欲しい
	機器を間に挟むよりは、生身の指導が大切だと思う
	どんなにIT化が進んでも個別指導の重要性は不可欠である。
	一方通行的な映像教材になってしまう可能性がある。エンターテイメントに走り、本質がずれる。顧客だけが増えても、質問対応などのフォローができない。
	IT機器は生徒が個人で活用すべきだと思う。
	受動的な指導になってしまい、生徒の自ら進んで考えたりする力が育たないこと。
	人が人を教えることが大切
	試験ベースは紙なので、タブレットで覚えたことによる影響があるのかどうか不安です。
	DVDだけでなく昔の資料も再生できるようVHSやカセットプレーヤーも引き続き設置してほしい。
	自分自身のITのスキルが高くなければ導入しても使いこなせないという恐れが二の足を踏ませている。
一方的に映像や問題、説明を流すだけでは不安。質問や疑問に即対応できないとやはり使うのは難しいかも	

- ・生徒が受け身になってしまうのではと懸念する声も。
- ・従来の個別指導や直接指導の利点を残しつつ、生徒自らが主体的に考え、学べるIT導入が望ましい。

その他	ほんとうに効果のあるIT教育法が知りたいです。
	ネット配信型の小中学生対象の学習塾が成功するのはまだ先のことだと思う。
	塾にパソコンを設置して使うものはスペースや生徒人数的に無理があるので、生徒自宅のPCに配信されるものがよいのではないか。

・効果的なIT活用教育法の周知や環境整備が必要不可欠である。

# クロス表

---

## ■設問1

あなたの塾で対象としている年齢層を教えてください。(複数回答可)

塾の対象年齢別	全体	1 未 就 学 児	2 3 小 年 学 生 1 〜 3	3 6 小 年 学 生 4 〜 6	4 中 学 生	5 高 校 生	6 浪 人 生	7 そ の 他
	全体	100 100.0%	12 12.0%	36 36.0%	68 68.0%	72 72.0%	64 64.0%	24 24.0%
未就学児	12 100.0%	12 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -
小学1～3年生	36 100.0%	- -	36 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -
小学4～6年生	68 100.0%	- -	- -	68 100.0%	- -	- -	- -	- -
中学生	72 100.0%	- -	- -	- -	72 100.0%	- -	- -	- -
高校生	64 100.0%	- -	- -	- -	- -	64 100.0%	- -	- -
浪人生	24 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	24 100.0%	- -
その他	11 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	11 100.0%

その他…専門学校生、大学生、社会人、一般人、失業中の方や資格取得を目指す方

- ・回答者は、未就学児から社会人向けの塾に所属する講師。
- ・生徒の年齢は、小学校高学年～高校生がボリュームゾーン。

	全体	1	2	3	4	5	6	7
		未就学児	3 小学生 1 人	6 小学生 4 人	中学生	高校生	浪人生	その他
<b>塾の形態別</b>								
全体	100	12	36	68	72	64	24	11
	100.0%	12.0%	36.0%	68.0%	72.0%	64.0%	24.0%	11.0%
個別指導型	39	7	17	26	31	27	13	5
	100.0%	17.9%	43.6%	66.7%	79.5%	69.2%	33.3%	12.8%
集合授業型	40	1	10	25	22	26	8	5
	100.0%	2.5%	25.0%	62.5%	55.0%	65.0%	20.0%	12.5%
少人数型	17	3	7	13	15	8	1	1
	100.0%	17.6%	41.2%	76.5%	88.2%	47.1%	5.9%	5.9%
その他	4	1	2	4	4	3	2	-
	100.0%	25.0%	50.0%	100.0%	100.0%	75.0%	50.0%	-

その他…専門学校生、大学生、社会人、一般人、失業中の方や資格取得を目指す方

- ・回答者は、未就学児から社会人向けの塾に所属する講師。
- ・生徒の年齢は、小学校高学年～高校生がボリュームゾーン。

## ■設問2

あなたの塾の生徒数(おおよその人数)を教えてください。

塾の対象年齢別		1	2	3	4	5	6	7
		11 0人	31 0人	53 0人	85 0人	18 0人	51 0人	以5 上0 1人
全体	100	20	19	14	8	9	15	15
	100.0%	20.0%	19.0%	14.0%	8.0%	9.0%	15.0%	15.0%
未就学児	12	1	1	4	4	-	1	1
	100.0%	8.3%	8.3%	33.3%	33.3%	-	8.3%	8.3%
小学1～3年生	36	6	5	8	4	1	8	4
	100.0%	16.7%	13.9%	22.2%	11.1%	2.8%	22.2%	11.1%
小学4～6年生	68	12	10	11	6	7	12	10
	100.0%	17.6%	14.7%	16.2%	8.8%	10.3%	17.6%	14.7%
中学生	72	13	14	13	7	7	10	8
	100.0%	18.1%	19.4%	18.1%	9.7%	9.7%	13.9%	11.1%
高校生	64	9	10	10	6	7	10	12
	100.0%	14.1%	15.6%	15.6%	9.4%	10.9%	15.6%	18.8%
浪人生	24	4	5	-	1	3	6	5
	100.0%	16.7%	20.8%	-	4.2%	12.5%	25.0%	20.8%
その他	11	3	2	2	-	1	2	1
	100.0%	27.3%	18.2%	18.2%	-	9.1%	18.2%	9.1%

・小学校低学年以下を対象とする塾の生徒数は、31～80人がボリュームゾーン。



		1	2	3	4	5	6	7
		11 0人	31 0人	53 0人	85 0人	18 0人	51 0人	以5 上0 1人
塾の形態別								
全体	100	20	19	14	8	9	15	15
	100.0%	20.0%	19.0%	14.0%	8.0%	9.0%	15.0%	15.0%
個別指導型	39	12	8	8	3	1	5	2
	100.0%	30.8%	20.5%	20.5%	7.7%	2.6%	12.8%	5.1%
集合授業型	40	3	4	6	3	4	8	12
	100.0%	7.5%	10.0%	15.0%	7.5%	10.0%	20.0%	30.0%
少人数型	17	4	7	—	2	3	—	1
	100.0%	23.5%	41.2%	—	11.8%	17.6%	—	5.9%
その他	4	1	—	—	—	1	2	—
	100.0%	25.0%	—	—	—	25.0%	50.0%	—

- ・個別指導型／少人数型の塾の過半数が「生徒数30名以下」。
- ・集合授業型の塾の半数が「生徒数101名以上」。

### ■設問3

あなたの塾の形態を教えてください。

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4
		指個 導別 型	授集 業合 型	型少 人数	そ の 他
全体	100	39	40	17	4
	100.0%	39.0%	40.0%	17.0%	4.0%
未就学児	12	7	1	3	1
	100.0%	58.3%	8.3%	25.0%	8.3%
小学1～3年生	36	17	10	7	2
	100.0%	47.2%	27.8%	19.4%	5.6%
小学4～6年生	68	26	25	13	4
	100.0%	38.2%	36.8%	19.1%	5.9%
中学生	72	31	22	15	4
	100.0%	43.1%	30.6%	20.8%	5.6%
高校生	64	27	26	8	3
	100.0%	42.2%	40.6%	12.5%	4.7%
浪人生	24	13	8	1	2
	100.0%	54.2%	33.3%	4.2%	8.3%
その他	11	5	5	1	—
	100.0%	45.5%	45.5%	9.1%	—

その他…集団授業・個別指導併用型

・小学校低学年までは「個別指導型」が多い。

・年齢層が上がるにつれ「集合授業型」が増える傾向が見られる。

塾の形態別	全体	1 個別指導型	2 集合授業型	3 少人数型	4 その他
	全体	100 100.0%	39 39.0%	40 40.0%	17 17.0%
個別指導型	39 100.0%	39 100.0%	— —	— —	— —
集合授業型	40 100.0%	— —	40 100.0%	— —	— —
少人数型	17 100.0%	— —	— —	17 100.0%	— —
その他	4 100.0%	— —	— —	— —	4 100.0%

その他…集団授業・個別指導併用型

・集合授業型と個別指導型が拮抗している。

## ■設問4

あなたの塾における1回あたりの授業時間を教えてください。

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5	6	7	8
		以4 下5 分	5 0 分	6 0 分	7 0 分	8 0 分	9 0 分	以9 上0 分	そ の 他
全体	100	12	4	19	5	6	17	35	2
	100.0%	12.0%	4.0%	19.0%	5.0%	6.0%	17.0%	35.0%	2.0%
未就学児	12	6	—	4	—	—	—	2	—
	100.0%	50.0%	—	33.3%	—	—	—	16.7%	—
小学1～3年生	36	10	1	8	1	4	3	9	—
	100.0%	27.8%	2.8%	22.2%	2.8%	11.1%	8.3%	25.0%	—
小学4～6年生	68	11	4	12	5	5	10	21	—
	100.0%	16.2%	5.9%	17.6%	7.4%	7.4%	14.7%	30.9%	—
中学生	72	10	4	14	2	4	13	24	1
	100.0%	13.9%	5.6%	19.4%	2.8%	5.6%	18.1%	33.3%	1.4%
高校生	64	7	4	11	1	3	12	25	1
	100.0%	10.9%	6.3%	17.2%	1.6%	4.7%	18.8%	39.1%	1.6%
浪人生	24	—	1	6	—	2	4	11	—
	100.0%	—	4.2%	25.0%	—	8.3%	16.7%	45.8%	—
その他	11	1	—	3	—	—	3	4	—
	100.0%	9.1%	—	27.3%	—	—	27.3%	36.4%	—

その他…110分、120分

・小学校高学年以上は、1回あたり「90分以上」の授業が主流である。

塾の形態別	全体	1	2	3	4	5	6	7	8
		以下45分	50分	60分	70分	80分	90分	以上90分	その他
全体	100	12	4	19	5	6	17	35	2
	100.0%	12.0%	4.0%	19.0%	5.0%	6.0%	17.0%	35.0%	2.0%
個別指導型	39	7	1	9	—	2	8	12	—
	100.0%	17.9%	2.6%	23.1%	—	5.1%	20.5%	30.8%	—
集合授業型	40	5	3	5	4	1	4	17	1
	100.0%	12.5%	7.5%	12.5%	10.0%	2.5%	10.0%	42.5%	2.5%
少人数型	17	—	—	5	1	2	4	4	1
	100.0%	—	—	29.4%	5.9%	11.8%	23.5%	23.5%	5.9%
その他	4	—	—	—	—	1	1	2	—
	100.0%	—	—	—	—	25.0%	25.0%	50.0%	—

その他…110分、120分

- ・個別指導型、集合授業型の塾では、1回あたり「90分以上」の授業が多い。
- ・少人数型の塾では、「60分」の授業が多い。

## ■設問5

あなたの塾ではどのような形式の教材を使用していますか。  
また、それは誰が作ったものですか？（複数回答可）

【プリント】

塾の対象年齢別	全体	1 オリジナル教材	2 の市販（一般販売しているもの）	3 塾用教材	4 その他	5 使用していない
	全体	100 100.0%	71 71.0%	12 12.0%	27 27.0%	2 2.0%
未就学児	12 100.0%	6 50.0%	3 25.0%	3 25.0%	— —	2 16.7%
小学1～3年生	36 100.0%	25 69.4%	4 11.1%	9 25.0%	— —	4 11.1%
小学4～6年生	68 100.0%	48 70.6%	9 13.2%	20 29.4%	1 1.5%	7 10.3%
中学生	72 100.0%	50 69.4%	10 13.9%	24 33.3%	1 1.4%	5 6.9%
高校生	64 100.0%	48 75.0%	10 15.6%	16 25.0%	2 3.1%	4 6.3%
浪人生	24 100.0%	19 79.2%	5 20.8%	4 16.7%	2 8.3%	2 8.3%
その他	11 100.0%	9 81.8%	4 36.4%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%

・プリント教材の使用率は92%。

・プリント教材の多くは塾で作成されたオリジナルである。

## 【プリント】

	全体	1	2	3	4	5
		オリジナル教材	の市販されたもの（一般販売）	塾用教材	その他	使用していない
塾の形態別	全体	100	12	27	2	8
		100.0%	12.0%	27.0%	2.0%	8.0%
個別指導型	39	25	7	12	2	3
		100.0%	64.1%	17.9%	30.8%	5.1%
集合授業型	40	33	2	8	—	3
		100.0%	82.5%	5.0%	20.0%	—
少人数型	17	10	3	5	—	2
		100.0%	58.8%	17.6%	29.4%	—
その他	4	3	—	2	—	—
		100.0%	75.0%	—	50.0%	—

・プリント教材の使用率は92%。

・プリント教材の多くは塾で作成されたオリジナルである。

## 【テキスト】

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5
		オリジナル教材	の市販（一般販売しているもの）	塾用教材	その他	使用していない
全体	100	41	20	49	1	10
	100.0%	41.0%	20.0%	49.0%	1.0%	10.0%
未就学児	12	3	3	3	—	3
	100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	—	25.0%
小学1～3年生	36	13	6	14	—	8
	100.0%	36.1%	16.7%	38.9%	—	22.2%
小学4～6年生	68	25	12	38	—	8
	100.0%	36.8%	17.6%	55.9%	—	11.8%
中学生	72	25	15	42	—	7
	100.0%	34.7%	20.8%	58.3%	—	9.7%
高校生	64	26	15	33	1	5
	100.0%	40.6%	23.4%	51.6%	1.6%	7.8%
浪人生	24	12	9	11	1	—
	100.0%	50.0%	37.5%	45.8%	4.2%	—
その他	11	6	5	2	—	2
	100.0%	54.5%	45.5%	18.2%	—	18.2%

・テキスト教材の使用率は90%。

・小・中・高校生向けの塾では、塾用教材の利用が多い。



## 【テキスト】

塾の形態別	全体	1	2	3	4	5
		オリジナル教材	の市販（一般販売）も	塾用教材	その他	使用していない
全体	100	41	20	49	1	10
	100.0%	41.0%	20.0%	49.0%	1.0%	10.0%
個別指導型	39	14		15	1	5
	100.0%	35.9%	28.2%	38.5%	2.6%	12.8%
集合授業型	40	21	5	20	—	3
	100.0%	52.5%	12.5%	50.0%	—	7.5%
少人数型	17	5	3	10	—	2
	100.0%	29.4%	17.6%	58.8%	—	11.8%
その他	4	1	1	4	—	—
	100.0%	25.0%	25.0%	100.0%	—	—

・テキスト教材の使用率は90%。

・個別指導型、少人数型の塾では、塾用教材の利用が多い。

・集合授業型の塾ではオリジナルのテキストが多く使われている。

## 【映像教材】

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5
		オリジナル教材	の市販（一般販売）されているもの	塾用教材	その他	使用していない
全体	100	21	2	5	2	72
	100.0%	21.0%	2.0%	5.0%	2.0%	72.0%
未就学児	12	2	1	1	—	8
	100.0%	16.7%	8.3%	8.3%	—	66.7%
小学1～3年生	36	7	1	1	—	27
	100.0%	19.4%	2.8%	2.8%	—	75.0%
小学4～6年生	68	13	2	5	1	49
	100.0%	19.1%	2.9%	7.4%	1.5%	72.1%
中学生	72	13	2	5	1	53
	100.0%	18.1%	2.8%	6.9%	1.4%	73.6%
高校生	64	13	2	4	2	45
	100.0%	20.3%	3.1%	6.3%	3.1%	70.3%
浪人生	24	6	—	1	1	16
	100.0%	25.0%	—	4.2%	4.2%	66.7%
その他	11	3	—	—	—	8
	100.0%	27.3%	—	—	—	72.7%

・映像教材の使用率は28%。

・未就学児や浪人生への使用率が比較的高い。

・塾で作成したオリジナルの映像教材が多く使用されている。

## 【映像教材】

塾の形態別	全体	1	2	3	4	5
		オリジナル教材	の市販されているもの（一般販売）	塾用教材	その他	使用していない
全体	100	21	2	5	2	72
	100.0%	21.0%	2.0%	5.0%	2.0%	72.0%
個別指導型	39	5	1	1	1	31
	100.0%	12.8%	2.6%	2.6%	2.6%	79.5%
集合授業型	40	13	—	4	1	24
	100.0%	32.5%	—	10.0%	2.5%	60.0%
少人数型	17	3	1	—	—	13
	100.0%	17.6%	5.9%	—	—	76.5%
その他	4	—	—	—	—	4
	100.0%	—	—	—	—	100.0%

・集合授業型の塾の40%が映像教材を使用。

・塾で作成したオリジナルの映像教材が多く使用されている。

## ■設問6

現在ご使用の教材の長所を教えてください。(複数回答可)

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5	6	7
		いる学 る校 教科 書で 使用 に沿 って いて	てわ生 いせ徒 るたの 内レ 容ベ にな っ合	てつ生 いけ徒 るの 工興 夫味 がを 惹き	り問 取題 り数 組が 適 量 す で いあ	り表 現 やす い構 成 が わ か	そ の 他 【 良 い 点 】	良 い 点 は な い
全体	100	42	46	30	43	33	3	4
	100.0%	42.0%	46.0%	30.0%	43.0%	33.0%	3.0%	4.0%
未就学児	12	3	7	7	3	3	-	-
	100.0%	25.0%	58.3%	58.3%	25.0%	25.0%	-	-
小学1～3年生	36	12	17	18	13	10	-	-
	100.0%	33.3%	47.2%	50.0%	36.1%	27.8%	-	-
小学4～6年生	68	32	30	20	28	21	3	2
	100.0%	47.1%	44.1%	29.4%	41.2%	30.9%	4.4%	2.9%
中学生	72	38	36	21	33	25	2	-
	100.0%	52.8%	50.0%	29.2%	45.8%	34.7%	2.8%	-
高校生	64	27	30	18	30	24	2	2
	100.0%	42.2%	46.9%	28.1%	46.9%	37.5%	3.1%	3.1%
浪人生	24	6	9	5	9	9	1	2
	100.0%	25.0%	37.5%	20.8%	37.5%	37.5%	4.2%	8.3%
その他	11	1	7	5	6	6	1	-
	100.0%	9.1%	63.6%	45.5%	54.5%	54.5%	9.1%	-

その他…レベルが高い、典型的な問題がひと通り入っている、中学受験用

・講師が考える良い教材の要素トップ3は、「生徒のレベルに合っている」「問題数が適量」「学校の教科書に沿っている」。

・生徒の年齢が低い程、「生徒の興味を惹きつけられるか」についても重視されている。

・「表現や構成のわかりやすさ」についても、回答者の3分の1が評価。

塾の形態別	全体	1	2	3	4	5	6	7
		書に沿って 学校で使用 している教科 書	生徒のレベ ルに合わせた 内容	生徒の興味 を惹きつける 工夫がされて いる	問題数が適 量であり取り 組みやすい	表現や構成 がわかりやす い	その他【良 い点】	良い点はない
全体	100	42	46	30	43	33	3	4
	100.0%	42.0%	46.0%	30.0%	43.0%	33.0%	3.0%	4.0%
個別指導型	39	15	23	12	19	12	1	-
	100.0%	38.5%	59.0%	30.8%	48.7%	30.8%	2.6%	-
集合授業型	40	14	13	12	16	15	2	4
	100.0%	35.0%	32.5%	30.0%	40.0%	37.5%	5.0%	10.0%
少人数型	17	10	10	6	7	5	-	-
	100.0%	58.8%	58.8%	35.3%	41.2%	29.4%	-	-
その他	4	3	-	-	1	1	-	-
	100.0%	75.0%	-	-	25.0%	25.0%	-	-

その他…レベルが高い、典型的な問題がひと通り入っている、中学受験用

・講師が考える良い教材の要素トップ3は、「生徒のレベルに合っている」「問題数が適量」「学校の教科書に沿っている」。

## ■設問7

現在ご使用の教材の短所を教えてください。

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5	6	7
		い教科書で沿っていい	て生徒のレベルに合っ	続理由で生徒の興味がの	少問題が多すぎる／	に表現や構成がわかり	その他【悪い点】	悪い点はない
全体	100	19	10	6	16	9	5	48
	100.0%	19.0%	10.0%	6.0%	16.0%	9.0%	5.0%	48.0%
未就学児	12	3	-	-	3	1	-	6
	100.0%	25.0%	-	-	25.0%	8.3%	-	50.0%
小学1～3年生	36	10	3	1	7	3	1	17
	100.0%	27.8%	8.3%	2.8%	19.4%	8.3%	2.8%	47.2%
小学4～6年生	68	13	7	4	11	6	3	34
	100.0%	19.1%	10.3%	5.9%	16.2%	8.8%	4.4%	50.0%
中学生	72	13	5	5	12	5	3	37
	100.0%	18.1%	6.9%	6.9%	16.7%	6.9%	4.2%	51.4%
高校生	64	16	5	4	9	6	2	28
	100.0%	25.0%	7.8%	6.3%	14.1%	9.4%	3.1%	43.8%
浪人生	24	6	4	-	3	3	1	11
	100.0%	25.0%	16.7%	-	12.5%	12.5%	4.2%	45.8%
その他	11	1	1	-	3	1	2	5
	100.0%	9.1%	9.1%	-	27.3%	9.1%	18.2%	45.5%

その他…解説が少ない、解説が全くないので独学には不向き、一部移行措置に対応していない、宿題にする問題が分かれていない、国語の解説で時にこじつけに近いものがある

・約半数の講師が塾の教材に不満はないと回答。

・不満として多かったのは「学校の教科書に沿っていない」「問題数が多すぎる／少なすぎる」。

塾の形態別	全体	1	2	3	4	5	6	7
		学校に沿って使っていない教科書	生徒のレベルに合っていない	文字量が多いなどの理由	問題数が多すぎる／少ない	表現や構成がわかりにくい	その他【悪い点】	悪い点はない
全体	100	19	10	6	16	9	5	48
	100.0%	19.0%	10.0%	6.0%	16.0%	9.0%	5.0%	48.0%
個別指導型	39	9	4	1	4	1	3	21
	100.0%	23.1%	10.3%	2.6%	10.3%	2.6%	7.7%	53.8%
集合授業型	40	8	5	4	5	6	-	18
	100.0%	20.0%	12.5%	10.0%	12.5%	15.0%	-	45.0%
少人数型	17	2	1	1	5	-	2	7
	100.0%	11.8%	5.9%	5.9%	29.4%	-	11.8%	41.2%
その他	4	-	-	-	2	2	-	2
	100.0%	-	-	-	50.0%	50.0%	-	50.0%

・約半数の講師が塾の教材に不満はないと回答。

・不満として多かったのは「学校の教科書に沿っていない」「問題数が多い／少ない」。

その他…解説が少ない、解説が全くないので独学には不向き、一部移行措置に対応していない、宿題にする問題が分かれていない、国語の解説で時にこじつけに近いものがある

## ■設問8

あなたの塾の教材をインターネット上で一般に販売する場合、不安に思うことはありますか。  
(複数回答可)

全体	1	2	3	4	5	6	
	た受 め講 教者 材と がの 売パ れる プか が心 配い	扱決 い済 やな 運ど 用各 に種 不シ 慣ス れテ ム の、	が準 か備 かり り運 そう うに で多 不安額 の費 用	なり 教材 のク オリ ティ が低 く	そ の 他	特 に不 安は ない	
全体	100 100.0%	22 22.0%	27 27.0%	32 32.0%	15 15.0%	3 3.0%	37 37.0%
未就学児	12 100.0%	1 8.3%	- -	2 16.7%	2 16.7%	- -	7 58.3%
小学1～3年生	36 100.0%	4 11.1%	4 11.1%	7 19.4%	8 22.2%	3 8.3%	14 38.9%
小学4～6年生	68 100.0%	15 22.1%	20 29.4%	26 38.2%	12 17.6%	2 2.9%	21 30.9%
中学生	72 100.0%	13 18.1%	21 29.2%	27 37.5%	12 16.7%	2 2.8%	26 36.1%
高校生	64 100.0%	16 25.0%	19 29.7%	19 29.7%	10 15.6%	1 1.6%	24 37.5%
浪人生	24 100.0%	6 25.0%	8 33.3%	8 33.3%	2 8.3%	1 4.2%	9 37.5%
その他	11 100.0%	3 27.3%	3 27.3%	4 36.4%	1 9.1%	- -	5 45.5%

その他…販売の予定はない、販売しようと思わない、教材費を具体的に計算されるようになるので無用なトラブルが増えそう

・生徒の年齢が上がる程、コスト面での不安が増大している。

・小学校低学年以下を対象とした塾講師は、教材のクオリティを心配している。

・高校生以上を対象とした塾講師は、システムの扱いや運用面での不安が比較的大きい。

・「特に不安はない」の中には、インターネット展開に消極的な層も含まれるものと考えられる。



塾の形態別	全体	1	2	3	4	5	6
		め受 教講 材者 がと 売の れる パイ プが 心配 ない た	や済教 運な材 用にど に各作 不種成 慣シや れス受 テ講 ム者 の管 扱理 い決	か準 かり備 りや そ運 う用 でに 不安多 額 の 費用 が	り教 そ材 うの でク 不安オ リ テイ が低 く な	5 その 他	6 特 に不 安は ない
全体	100	22	27	32	15	3	37
	100.0%	22.0%	27.0%	32.0%	15.0%	3.0%	37.0%
個別指導型	39	7	9	8	4	-	20
	100.0%	17.9%	23.1%	20.5%	10.3%	-	51.3%
集合授業型	40	11	10	15	9	1	12
	100.0%	27.5%	25.0%	37.5%	22.5%	2.5%	30.0%
少人数型	17	3	7	7	2	1	4
	100.0%	17.6%	41.2%	41.2%	11.8%	5.9%	23.5%
その他	4	1	1	2	-	1	1
	100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	-	25.0%	25.0%

その他…販売の予定はない、販売しようと思わない、教材費を具体的に計算されるようになるので無用なトラブルが増えそう

・集合授業型、少人数型の塾講師は、個別指導型の塾講師に比べてコスト面での不安が大きい。

・「特に不安はない」の中には、インターネット展開に消極的な層も含まれるものと考えられる。

## ■設問9-1

あなたの塾では授業の際、IT機器(パソコン・タブレット端末・電子黒板・スマートフォン)を利用していますか。

塾の対象年齢別	全体	1	2
		利用している	利用していない
全体	100	28	72
	100.0%	28.0%	72.0%
未就学児	12	3	9
	100.0%	25.0%	75.0%
小学1～3年生	36	8	28
	100.0%	22.2%	77.8%
小学4～6年生	68	19	49
	100.0%	27.9%	72.1%
中学生	72	21	51
	100.0%	29.2%	70.8%
高校生	64	24	40
	100.0%	37.5%	62.5%
浪人生	24	13	11
	100.0%	54.2%	45.8%
その他	11	5	6
	100.0%	45.5%	54.5%

・生徒の年齢が上がる程、IT利用率も高くなっている。

・浪人生を対象とした予備校・塾の過半数が授業でIT機器を活用している。

塾の形態別	全体	1	2
		利用している	利用していない
全体	100	28	72
	100.0%	28.0%	72.0%
個別指導型	39	15	24
	100.0%	38.5%	61.5%
集合授業型	40	11	29
	100.0%	27.5%	72.5%
少人数型	17	2	15
	100.0%	11.8%	88.2%
その他	4	—	4
	100.0%	—	100.0%

・個別指導型の塾でのIT利用率が比較的高い。

## ■設問9-2

「利用している」と答えた方にお聞きします。どのような機器をどのように利用していますか。  
(複数回答可)

塾の対象年齢別	全体	1 パソコン	2 端末 タブレット	3 電子 黒板	4 フス オマ ート	5 そ の 他
	全体	28 100.0%	22 78.6%	8 28.6%	-	4 14.3%
未就学児	3 100.0%	2 66.7%	-	-	1 33.3%	-
小学1～3年生	8 100.0%	7 87.5%	1 12.5%	-	1 12.5%	-
小学4～6年生	19 100.0%	14 73.7%	7 36.8%	-	4 21.1%	1 5.3%
中学生	21 100.0%	15 71.4%	8 38.1%	-	4 19.0%	1 4.8%
高校生	24 100.0%	18 75.0%	8 33.3%	-	4 16.7%	1 4.2%
浪人生	13 100.0%	11 84.6%	3 23.1%	-	1 7.7%	1 7.7%
その他	5 100.0%	4 80.0%	-	-	1 20.0%	-

その他…液晶ペンタブレット

・生徒の年齢を問わず、「パソコン」の利用率が高かった。

・小学校高学年、中学生を対象とした塾では「タブレット端末」の利用率も高い。

塾の形態別	全体	1	2	3	4	5
		パソコン	端末 タブレット	電子 黒板	フス ォマ ン ト	そ の 他
全体	28	22	8	-	4	1
	100.0%	78.6%	28.6%	-	14.3%	3.6%
個別指導型	15	12	3	-	2	-
	100.0%	80.0%	20.0%	-	13.3%	-
集合授業型	11	8	5	-	2	1
	100.0%	72.7%	45.5%	-	18.2%	9.1%
少人数型	2	2	-	-	-	-
	100.0%	100.0%	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

その他…液晶ペンタブレット

・塾の形態を問わず、「パソコン」の利用率がもっとも高い。

・集合授業型の塾では「タブレット端末」の利用率も高い。

## 【パソコンの利用方法】

PCで画像音声等を生徒に見せながら授業を行っています。
メールで質問受付。適切な検索サイトの周知。課題添削。
無料のテレビ電話ソフトによる個別授業
パソコンで自由にレベルに合わせた問題をプリントアウトできる。
全ての教科をパソコンで行っている。
関数のグラフを書いたり、化学の結合を見せている
辞書代わりに使っている。
WEBのサイト検索術を伝授
オンライン上で質疑応答ができる
成績管理
講義を流している
教室の連絡事項

一部抜粋

- ・オンライン上での質疑応答やテレビ電話ソフトを使った個別授業など、従来の指導の枠を超えた便利なサービスが展開されている。
- ・課題添削や成績管理、情報伝達(連絡)をIT化している塾も多いと見られる。

**【パソコン・タブレット端末の利用方法】**

調べ物、パソコンで映像を見せながら英語の授業  
タブレットで教科に関する映像を見もらう

**【パソコン・その他の利用方法】**

PCのデータを液晶プロジェクターで投影し、ペンタブレットで説明を書き込むなどして授業をしている。

**【タブレット端末の利用方法】**

プリント問題の代替  
タブレットで写真などを見せながら授業。  
説明の追加又は、実験の代わりに映像を見せている

**【スマートフォンの利用方法】**

演奏を録画する

一部抜粋

・パソコン×タブレット端末など、複数のIT機器を組み合わせ活用している塾も見られる。

### ■設問9-3

「利用している」と答えた方にお聞きします。

あなたが考える、IT機器を利用するメリット・デメリットは何ですか。

【メリット】

塾の対象年齢別

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	全体	ま る 生 徒 の 興 味 関 心 が 高 まる	に 生 徒 が 参 加 し て く れ 積 極 的	成 績 が 上 が る 授 業 理 解 度 ／	が 生 徒 の 予 復 習 率 が 上 がる	わ せ た 指 導 が 可 能 に 合	な る ケ ー シ ョ ン が 円 滑 に	握 で き る 家 庭 学 習 の 状 況 が 把	生 徒 確 保 に つ な が る	そ の 他 【 メ リ ッ ト 】	メ リ ッ ト は な い
全体	28	18	7	9	4	4	2	5	1	2	2
	100.0%	64.3%	25.0%	32.1%	14.3%	14.3%	7.1%	17.9%	3.6%	7.1%	7.1%
未就学児	3	2	1	2	-	-	-	-	-	-	1
	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	-	-	-	-	-	-	33.3%
小学1～3年生	8	4	2	3	3	2	1	1	-	-	1
	100.0%	50.0%	25.0%	37.5%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	-	-	12.5%
小学4～6年生	19	13	5	7	4	4	2	4	1	1	1
	100.0%	68.4%	26.3%	36.8%	21.1%	21.1%	10.5%	21.1%	5.3%	5.3%	5.3%
中学生	21	14	5	7	4	4	2	4	1	2	1
	100.0%	66.7%	23.8%	33.3%	19.0%	19.0%	9.5%	19.0%	4.8%	9.5%	4.8%
高校生	24	15	5	7	3	3	2	5	1	2	1
	100.0%	62.5%	20.8%	29.2%	12.5%	12.5%	8.3%	20.8%	4.2%	8.3%	4.2%
浪人生	13	7	2	1	2	2	-	3	-	1	2
	100.0%	53.8%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%	-	23.1%	-	7.7%	15.4%
その他	5	3	2	2	-	-	-	-	-	1	-
	100.0%	60.0%	40.0%	40.0%	-	-	-	-	-	20.0%	-

その他…わかりやすい、双方に移動の手間がない

- ・生徒の年齢を問わず、「生徒の興味関心が高まる」がもっとも多い。
- ・生徒の年齢が低いほど、「授業理解度/成績が上がる」「予復習率が上がる」傾向が見られる。



## 【メリット】

塾の形態別	全体	1 生徒の 興味関心 が高まる	2 生徒が 授業に 積極的に 参加する	3 生徒の 授業理解 度が上がる	4 生徒の 予復習率 が上がる	5 生徒一人 ひとりに 合わせた 指導が 可能	6 生徒との コミュニケーション が円滑に なる	7 家庭学習 の状況が 把握できる	8 生徒確保 につながる	9 その他【 メリット 】	10 メリッ トはない
	全体	28 100.0%	18 64.3%	7 25.0%	9 32.1%	4 14.3%	4 14.3%	2 7.1%	5 17.9%	1 3.6%	2 7.1%
個別指導型	15 100.0%	11 73.3%	2 13.3%	3 20.0%	3 20.0%	3 20.0%	1 6.7%	3 20.0%	-	1 6.7%	-
集合授業型	11 100.0%	6 54.5%	4 36.4%	5 45.5%	-	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%
少人数型	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

その他…わかりやすい、双方に移動の手間がない

・塾の形態を問わず、「生徒の興味関心が高まる」がもっとも多い。

## 【デメリット】

全体	1	2	3	4	5	6	7	
	るこ生 な徒 せに ないよ いっ 場は 合が が使 あい	解保 を護 得者 るへ の必 要説 が明 あや 理	リ運 スク 保守 が面 ある で 手 間 や	プ講 が師 求側 め の ス キ ル ア ツ	5 費 用 が か か る	トそ の 他 【 デ メ リ ツ	デ メ リ ツ は な い	
全体	28	3	5	1	1	10	2	10
	100.0%	10.7%	17.9%	3.6%	3.6%	35.7%	7.1%	35.7%
未就学児	3	-	-	-	-	1	-	2
	100.0%	-	-	-	-	33.3%	-	66.7%
小学1～3年生	8	1	1	-	1	1	-	4
	100.0%	12.5%	12.5%	-	12.5%	12.5%	-	50.0%
小学4～6年生	19	3	4	1	1	6	1	6
	100.0%	15.8%	21.1%	5.3%	5.3%	31.6%	5.3%	31.6%
中学生	21	3	5	1	1	7	2	6
	100.0%	14.3%	23.8%	4.8%	4.8%	33.3%	9.5%	28.6%
高校生	24	3	4	1	1	8	2	9
	100.0%	12.5%	16.7%	4.2%	4.2%	33.3%	8.3%	37.5%
浪人生	13	1	2	1	1	4	1	4
	100.0%	7.7%	15.4%	7.7%	7.7%	30.8%	7.7%	30.8%
その他	5	-	1	-	-	2	1	2
	100.0%	-	20.0%	-	-	40.0%	20.0%	40.0%

その他…準備が大変、PC利用への親御様の理解

- ・「費用がかかる」「デメリットはない」が年代問わず多い。
- ・コストや運用面での懸念はあるものの、使用効果上のデメリットは少ないと考える講師が多い。

## 【デメリット】

塾の形態別	全体	1	2	3	4	5	6	7
		な生徒に よって ない場 合があ るこ	を保護 者への 必要が ある理 解	リ運用 スク保 守面で 手間や	が講師 側のス キルア ップ	費用が かかる	その他 【デメ リット 】	デメリ ットは ない
全体	28	3	5	1	1	10	2	10
	100.0%	10.7%	17.9%	3.6%	3.6%	35.7%	7.1%	35.7%
個別指導型	15	1	4	1	1	1	1	7
	100.0%	6.7%	26.7%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	46.7%
集合授業型	11	2	1	-	-	8	1	2
	100.0%	18.2%	9.1%	-	-	72.7%	9.1%	18.2%
少人数型	2	-	-	-	-	1	-	1
	100.0%	-	-	-	-	50.0%	-	50.0%
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-

その他…準備が大変、PC利用への親御様の理解

- ・個別指導型の塾講師の約半数が「デメリットはない」と回答。
- ・集合授業型、少人数型の塾講師の多数が「費用がかかる」ことをデメリットに挙げている。

## ■設問9-4

「利用している」と答えた方にお聞きします。導入費用はどれくらいかかりましたか。  
また、生徒側の金額負担はありますか。

【導入費用】

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5	6
		510万円	150万円	210万円	320万円	30万円以上	わからない
全体	28 100.0%	13 46.4%	3 10.7%	2 7.1%	1 3.6%	1 3.6%	8 28.6%
未就学児	3 100.0%	2 66.7%	-	-	-	-	1 33.3%
小学1～3年生	8 100.0%	4 50.0%	1 12.5%	-	-	1 12.5%	2 25.0%
小学4～6年生	19 100.0%	8 42.1%	3 15.8%	2 10.5%	-	1 5.3%	5 26.3%
中学生	21 100.0%	10 47.6%	3 14.3%	2 9.5%	-	1 4.8%	5 23.8%
高校生	24 100.0%	12 50.0%	3 12.5%	2 8.3%	-	-	7 29.2%
浪人生	13 100.0%	6 46.2%	2 15.4%	-	-	-	5 38.5%
その他	5 100.0%	3 60.0%	-	-	1 20.0%	-	1 20.0%

・導入費用としては、「1～50万」がもっとも多い。

## 【導入費用】

		1	2	3	4	5	6	
塾の形態別		全体	51 0万	15 0万	21 0万	32 0万	以3 上0 1万	わ か ら な い
		全体	28	13	3	2	1	1
			46.4%	10.7%	7.1%	3.6%	3.6%	28.6%
個別指導型		15	9	2	1	—	1	2
		100.0%	60.0%	13.3%	6.7%	—	6.7%	13.3%
集合授業型		11	3	1	1	1	—	5
		100.0%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	—	45.5%
少人数型		2	1	—	—	—	—	1
		100.0%	50.0%	—	—	—	—	50.0%
その他		—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—

・導入費用としては、「1～50万」がもっとも多い。

【生徒側の金額負担】

塾の対象年齢別	全体	1 円1 5 3 0 0 0 0	2 入 塾 時 に 0 1 円	3 入 塾 時 に 0 1 円	4 以 上 0 1 円	5 3 月 0 円	6 5 月 0 円	7 1 月 0 円	8 円 月 以 上 0 円	9 担 生 は 徒 側 の 金 額 負
	全体	28 100.0%	1 3.6%	1 3.6%	2 7.1%	- -	2 7.1%	- -	- -	- -
未就学児	3 100.0%	1 33.3%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 33.3%
小学1～3年生	8 100.0%	1 12.5%	- -	- -	- -	2 25.0%	- -	- -	- -	4 50.0%
小学4～6年生	19 100.0%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	- -	2 10.5%	- -	- -	- -	11 57.9%
中学生	21 100.0%	1 4.8%	1 4.8%	2 9.5%	- -	2 9.5%	- -	- -	- -	13 61.9%
高校生	24 100.0%	1 4.2%	1 4.2%	2 8.3%	- -	1 4.2%	- -	- -	- -	16 66.7%
浪人生	13 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	11 84.6%
その他	5 100.0%	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	5 100.0%

- ・67.9%の塾で、IT導入時の生徒側の金額負担は「なし」。
- ・生徒側の金額負担がある場合は、「入塾時に10,000円以内」か「月々3,000円以内」が多い。

## 【生徒側の金額負担】

	全体	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		3入塾、0時に01円	53入塾、00時に01円	15入塾、00時に01円	以上0塾、0に01円	3月、10円	5月、30円	1月、050円	以上10、001円	ない生徒側の金額負担は	わからない
塾の形態別											
全体	28 100.0%	1 3.6%	1 3.6%	2 7.1%	- -	2 7.1%	- -	- -	- -	19 67.9%	3 10.7%
個別指導型	15 100.0%	- -	1 6.7%	1 6.7%	- -	1 6.7%	- -	- -	- -	11 73.3%	1 6.7%
集合授業型	11 100.0%	- -	- -	1 9.1%	- -	- -	- -	- -	- -	8 72.7%	2 18.2%
少人数型	2 100.0%	1 50.0%	- -	- -	- -	1 50.0%	- -	- -	- -	- -	- -
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

- ・67.9%の塾で、IT導入時の生徒側の金額負担は「なし」。
- ・少人数型の塾では、生徒側の金額負担がある。

## ■設問9-5

「利用していない」と答えた方にお聞きします。IT機器を塾でも利用したいですか。またその理由をお答えください。

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5
		利用してみたい	どちらかみたい えば	どちらでもよい	くなる いべく 利用した	利用したくない
全体	72 100.0%	7 9.7%	17 23.6%	25 34.7%	11 15.3%	12 16.7%
未就学児	9 100.0%	-	1 11.1%	5 55.6%	-	3 33.3%
小学1～3年生	28 100.0%	2 7.1%	5 17.9%	11 39.3%	4 14.3%	6 21.4%
小学4～6年生	49 100.0%	4 8.2%	11 22.4%	19 38.8%	7 14.3%	8 16.3%
中学生	51 100.0%	3 5.9%	9 17.6%	21 41.2%	9 17.6%	9 17.6%
高校生	40 100.0%	4 10.0%	8 20.0%	15 37.5%	5 12.5%	8 20.0%
浪人生	11 100.0%	2 18.2%	5 45.5%	2 18.2%	2 18.2%	-
その他	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	-	-

・浪人生を対象とした塾講師は、IT活用に積極的である。



塾の形態別	全体	1	2	3	4	5
		利用してみたい	どちらかみたい えば	どちらでもよい	くなる いべく 利用した	利用したくない
全体	72	7	17	25	11	12
	100.0%	9.7%	23.6%	34.7%	15.3%	16.7%
個別指導型	24	2	4	10	3	5
	100.0%	8.3%	16.7%	41.7%	12.5%	20.8%
集合授業型	29	2	11	9	2	5
	100.0%	6.9%	37.9%	31.0%	6.9%	17.2%
少人数型	15	2	2	4	5	2
	100.0%	13.3%	13.3%	26.7%	33.3%	13.3%
その他	4	1	—	2	1	—
	100.0%	25.0%	—	50.0%	25.0%	—

・集合授業型の塾講師は、IT活用に積極的である。

性別・年齢別		全体	1	2	3	4	5
			い利用 してみた	みえど たばち い利ら 用か しと てい	いど ちら でも よ	しな たる くべ く ない 利用	い利 用し た く な
全体		72 100.0%	7 9.7%	17 23.6%	25 34.7%	11 15.3%	12 16.7%
男性		53 100.0%	6 11.3%	14 26.4%	17 32.1%	9 17.0%	7 13.2%
男性	25歳～29歳	3 100.0%	-	3 100.0%	-	-	-
	30歳～39歳	8 100.0%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%	3 37.5%	-
	40歳～49歳	17 100.0%	2 11.8%	4 23.5%	8 47.1%	2 11.8%	1 5.9%
	50歳～59歳	13 100.0%	2 15.4%	3 23.1%	4 30.8%	1 7.7%	3 23.1%
	60歳～69歳	9 100.0%	-	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	2 22.2%
	70歳～74歳	3 100.0%	-	-	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
	女性	19 100.0%	1 5.3%	3 15.8%	8 42.1%	2 10.5%	5 26.3%
女性	25歳～29歳	-	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	-	-
	40歳～49歳	8 100.0%	-	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	5 62.5%
	50歳～59歳	4 100.0%	-	-	3 75.0%	1 25.0%	-
	60歳～69歳	2 100.0%	-	-	2 100.0%	-	-
	70歳～74歳	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

・若い講師ほど、IT活  
用に積極的である。

## 「利用してみたい・どちらかといえば利用してみたい」と回答した人の理由

視覚に訴える授業も展開したいと考えているので  
 やはり多角的な授業ができるから  
 映像やカラフルな資料でヴィジュアル的にした方がイマ時の子にはわかりやすいだろうから。  
 子供はPCになれ親しんでいる。生身の方が説明するよりも食いつきがいいことが予想される。  
 生徒の興味を引くことができる  
 授業内容が解りやすくなるのであれば、利用してみたい  
 塾生が希望するであろうから。  
 タブレットで科学的な動画見せながら授業したい。  
 理科や社会の資料を簡単に映し出せたら便利だと思う  
 理科は動画を見るのが効果的だから  
 予算が許せば、映像資料を多用して、より異文化を実感してほしい。  
 社会科や科学分野等は目で見て理解が深まることが多いと思うので。  
 板書の代わりになる  
 板書の手間を省くことができるから。

一部抜粋

- ・映像や動画、写真、資料といった“視覚的教材”を効果的に活用した授業に対する期待が高い。
- ・板書の手間を省き、その分指導により力を入れたいという意見も。

## 「どちらでもよい」と回答した人の理由

コストが心配

設備投資して効果が上がるかいまいちわからない

親に認知されていない。

教材として良いものがあれば検討する。

利用できる環境になっていない

まだイメージが湧かないので、何とも言えないから。

あれば便利だが、絶対にいるものでもない。

時間が多く必要だから

活用が難しい

数学には不向きな気がします。

理科などでビジュアル的な説明をしたいときだけ必要性を感じるから。

一部抜粋

- ・「イメージがわからない」「あれば便利だが必ずしも必要ない」という意見が多数。
- ・IT機器を活用するメリットや効果的な授業法に対する認知度が低い。

## 「利用したくない・なるべく利用したくない」と回答した人の理由

導入コストがかかる、時間当たりの授業密度が下がりそう
設備投資に費用がかさむから
お金がかかることはしたくない
指導者とのコンタクトが減少する。
個別の1対1授業なので必要が無い。
直接の指導が子供には効果的だと考えるため。
自分流のメソッドを確立している為必要ない、また生徒を混乱させてしまう恐れがある為。
パソコン教材は、現場の人間が作ったものではないため、柔軟性に欠ける。
生身の授業が塾の主体になっているので。
使用するのが難しそう
設備費がかかる
個別に近い状態でみているのでIT機器は必要ない
少人数なので必要ない。コストが合わない。

一部抜粋

- ・IT導入に消極的な最大の理由は「コスト」。
- ・個別指導や直接指導に力を入れているため、IT機器は必要ないという意見も多かった。

## ■設問10

生徒に指導する際の課題を教えてください。(複数回答可)

塾の対象年齢別	全体	1	2	3	4	5	6
		のわ生 指せ徒 導た一 レ人 ベひ ルと 進り 度に で合	る生 授徒 業の 運や 営る の気 仕を 方高 め	け学 ない校 いの 授業 に追 いつ	る授 業の が大 変に 教材 を作	や生 徒が 塾に 来な い／	そ の 他
全体	100 100.0%	71 71.0%	60 60.0%	5 5.0%	11 11.0%	12 12.0%	3 3.0%
未就学児	12 100.0%	9 75.0%	6 50.0%	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	- -
小学1～3年生	36 100.0%	26 72.2%	18 50.0%	1 2.8%	2 5.6%	5 13.9%	1 2.8%
小学4～6年生	68 100.0%	47 69.1%	43 63.2%	5 7.4%	8 11.8%	5 7.4%	3 4.4%
中学生	72 100.0%	52 72.2%	42 58.3%	5 6.9%	9 12.5%	7 9.7%	3 4.2%
高校生	64 100.0%	47 73.4%	37 57.8%	3 4.7%	6 9.4%	8 12.5%	3 4.7%
浪人生	24 100.0%	14 58.3%	16 66.7%	1 4.2%	2 8.3%	3 12.5%	2 8.3%
その他	11 100.0%	8 72.7%	9 81.8%	1 9.1%	3 27.3%	2 18.2%	1 9.1%

その他…生徒によって学校・クラスでの授業進度が極端に違うことが多く(特に国語)大変指導しづらい、全員の到達度を確保するのが大変、家庭と一致した認識を持つこと。

・「生徒一人ひとりに合わせた指導法」や「生徒のやる気を高める授業運営」に対する関心が高い。

塾の形態別

	全体	1	2	3	4	5	6
		のわ生 指せ徒 導た一 レ人 ベルひとり 進度 で合	る生 授徒 業の 運やる 営の 仕気 方を高 め	け学 ない校 の授 業に 追いつ	る授 業の が大 変と に教 材を 作	や生 徒が 塾に 来 ない ／	そ の 他
全体	100	71	60	5	11	12	3
	100.0%	71.0%	60.0%	5.0%	11.0%	12.0%	3.0%
個別指導型	39	30	21	3	3	4	1
	100.0%	76.9%	53.8%	7.7%	7.7%	10.3%	2.6%
集合授業型	40	27	26	1	5	6	-
	100.0%	67.5%	65.0%	2.5%	12.5%	15.0%	-
少人数型	17	13	12	1	2	2	1
	100.0%	76.5%	70.6%	5.9%	11.8%	11.8%	5.9%
その他	4	1	1	-	1	-	1
	100.0%	25.0%	25.0%	-	25.0%	-	25.0%

その他…生徒によって学校・クラスでの授業進度が極端に違うことが多く(特に国語)大変指導しづらい、全員の到達度を確認するのが大変、家庭と一致した認識を持つこと。

・「生徒一人ひとりに合わせた指導法」や「生徒のやる気を高める授業運営」に対する関心が高い。

性別・年齢別

		1 のわ生 指せ徒 導た一 レ人 ベル 進ひ 度と に合	2 る生徒 授業の 運やる 営の 気高 め	3 け学 校の 授業 に追 いつ	4 る授 業の が大 変と に教 材を 作	5 や生 徒が 塾に 来不 い／	6 そ の 他
全体		100	60	5	11	12	3
		100.0%	60.0%	5.0%	11.0%	12.0%	3.0%
男性		74	45	3	6	9	2
		100.0%	60.8%	4.1%	8.1%	12.2%	2.7%
男性	25歳～29歳	4	3	-	-	-	-
		100.0%	75.0%	-	-	-	-
	30歳～39歳	16	9	12	1	-	3
		100.0%	56.3%	75.0%	6.3%	-	18.8%
	40歳～49歳	21	14	12	-	3	2
		100.0%	66.7%	57.1%	-	14.3%	9.5%
	50歳～59歳	15	12	10	1	-	1
	100.0%	80.0%	66.7%	6.7%	-	6.7%	
60歳～69歳	14	9	6	1	2	2	
	100.0%	64.3%	42.9%	7.1%	14.3%	14.3%	
70歳～74歳	4	3	2	-	1	1	
	100.0%	75.0%	50.0%	-	25.0%	25.0%	
女性		26	15	2	5	3	1
		100.0%	57.7%	7.7%	19.2%	11.5%	3.8%
女性	25歳～29歳	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	6	4	5	-	2	2
		100.0%	66.7%	83.3%	-	33.3%	33.3%
	40歳～49歳	11	9	6	1	1	1
		100.0%	81.8%	54.5%	9.1%	9.1%	9.1%
	50歳～59歳	7	6	3	-	2	-
	100.0%	85.7%	42.9%	-	28.6%	-	
60歳～69歳	2	2	1	1	-	-	
	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	-	-	
70歳～74歳	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

その他…生徒によって学校・クラスでの授業進度が極端に違うことが多く(特に国語)大変指導しづらい、全員の到達度を確認するのが大変、家庭と一致した認識を持つこと。

・若い講師ほど「生徒のやる気を高める授業運営」に対する関心が高い。



## ■設問11

様々な教育ITサービスが登場していますが、塾での活用に興味はありますか。  
興味があるサービスがあればお選びください。(複数回答可)

全体	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	二授欠 ン業席 グに時 参加 でき るeラ ーも	れに多 合数の サう教 ー材材 ビを会 ス選社 定か してら く生徒	で教イ 可材タ るを塾 サー内 ービで ス簡 単に 作映 成像	取アポ リッイン 入プント れたな付 たどゲ与 教育サム サーレ ーベ ル 素 を	で見授 可を業 るリ中 サア生 ーアル ービ徒 スイの ム理 で解 収度 集や 意	授業 をイ 開ラ （ン サーイ ービブ ス配 信 ）ト で上	き布問 るし題 サ生を ー徒 ービが ス自 宅 で 勉 強 で 配	8 そ 他	と く に 興 味 は な い

・「映像教材を簡単  
作成できるサービス」  
「遠方の生徒でも授業  
参加できるeラーニング」  
への興味が比較的高い。

### 塾の対象年齢別

全体	100	17	9	19	14	12	9	9	1	47
	100.0%	17.0%	9.0%	19.0%	14.0%	12.0%	9.0%	9.0%	1.0%	47.0%
未就学児	12	-	-	4	3	1	1	-	-	6
	100.0%	-	-	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	-	-	50.0%
小学1～3年生	36	2	-	6	5	2	2	2	1	22
	100.0%	5.6%	-	16.7%	13.9%	5.6%	5.6%	5.6%	2.8%	61.1%
小学4～6年生	68	9	7	14	7	8	6	6	1	34
	100.0%	13.2%	10.3%	20.6%	10.3%	11.8%	8.8%	8.8%	1.5%	50.0%
中学生	72	12	8	13	10	8	6	7	1	37
	100.0%	16.7%	11.1%	18.1%	13.9%	11.1%	8.3%	9.7%	1.4%	51.4%
高校生	64	13	7	11	9	7	7	7	1	29
	100.0%	20.3%	10.9%	17.2%	14.1%	10.9%	10.9%	10.9%	1.6%	45.3%
浪人生	24	8	2	5	2	4	4	4	1	7
	100.0%	33.3%	8.3%	20.8%	8.3%	16.7%	16.7%	16.7%	4.2%	29.2%
その他	11	3	2	2	3	4	3	3	-	3
	100.0%	27.3%	18.2%	18.2%	27.3%	36.4%	27.3%	27.3%	-	27.3%

その他…副教科を扱うもの

塾の形態別

	<table border="1"> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> </tr> <tr> <td>加欠 できる eラー ニング</td> <td>材多 を選 定し てく れる サー ビス</td> <td>材多 数の 教材 会社 から 生徒 に合 う教</td> <td>内イン でタラ クテイ ブな 映像 教材 を塾</td> <td>ビスゲ ーム 要素 を取り 入れた 教育 サー</td> <td>ポイン ト付 与レ ベル アッ プな ど</td> <td>ル授 業中 生 徒の 理解 度や 意見 をリア</td> <td>6授 業を イン ター ネット 上で 公開 (ライ ブ配 信)で きる サー ビス</td> <td>7が問 題を タブ レット 等で 配布 し生 徒</td> <td>8そ の他</td> <td>9と くに 興味 はない</td> </tr> </table>										1	2	3	4	5	6	7	8	9	加欠 できる eラー ニング	材多 を選 定し てく れる サー ビス	材多 数の 教材 会社 から 生徒 に合 う教	内イン でタラ クテイ ブな 映像 教材 を塾	ビスゲ ーム 要素 を取り 入れた 教育 サー	ポイン ト付 与レ ベル アッ プな ど	ル授 業中 生 徒の 理解 度や 意見 をリア	6授 業を イン ター ネット 上で 公開 (ライ ブ配 信)で きる サー ビス	7が問 題を タブ レット 等で 配布 し生 徒	8そ の他	9と くに 興味 はない
	1	2	3	4	5	6	7	8	9																					
加欠 できる eラー ニング	材多 を選 定し てく れる サー ビス	材多 数の 教材 会社 から 生徒 に合 う教	内イン でタラ クテイ ブな 映像 教材 を塾	ビスゲ ーム 要素 を取り 入れた 教育 サー	ポイン ト付 与レ ベル アッ プな ど	ル授 業中 生 徒の 理解 度や 意見 をリア	6授 業を イン ター ネット 上で 公開 (ライ ブ配 信)で きる サー ビス	7が問 題を タブ レット 等で 配布 し生 徒	8そ の他	9と くに 興味 はない																				
全体	100	17	9	19	14	12	9	9	1	47																				
	100.0%	17.0%	9.0%	19.0%	14.0%	12.0%	9.0%	9.0%	1.0%	47.0%																				
個別指導型	39	6	6	6	6	5	2	5	-	18																				
	100.0%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	12.8%	5.1%	12.8%	-	46.2%																				
集合授業型	40	8	2	10	4	6	5	3	-	19																				
	100.0%	20.0%	5.0%	25.0%	10.0%	15.0%	12.5%	7.5%	-	47.5%																				
少人数型	17	2	1	3	3	1	-	1	-	9																				
	100.0%	11.8%	5.9%	17.6%	17.6%	5.9%	-	5.9%	-	52.9%																				
その他	4	1	-	-	1	-	2	-	1	1																				
	100.0%	25.0%	-	-	25.0%	-	50.0%	-	25.0%	25.0%																				

その他…副教科を扱うもの

・「映像教材を簡単  
作成できるサービス」  
「遠方の生徒でも授業  
参加できるeラーニング」  
への興味が比較的高い。

性別・年齢別

		1	2	3	4	5	6	7	8	9
全体		に欠席時や遠方の生徒でも授業に参加できるeラーニング	多数の教材を会社から生徒に合う教材を選定してくれるサービス	インタラクティブな映像教材を塾内で簡単に作成できる	ポイント付与やレベルアップなどゲーム要素を取り入れた教育サービス	授業中生徒の理解度や意見をリアルタイムで収集できる	授業をインターネット上で公開（ライブ配信）できるサービス	生徒が自宅タブレット等で配布した問題が自習で勉強できるサービス	その他	とくに興味はない
全体		100	9	19	14	12	9	9	1	47
		100.0%	9.0%	19.0%	14.0%	12.0%	9.0%	9.0%	1.0%	47.0%
男性		74	6	13	10	8	8	7	1	34
		100.0%	8.1%	17.6%	13.5%	10.8%	10.8%	9.5%	1.4%	45.9%
男性	25歳～29歳	4	1	1	1	-	-	-	-	2
		100.0%	25.0%	25.0%	25.0%	-	-	-	-	50.0%
	30歳～39歳	16	5	3	5	3	3	2	1	5
		100.0%	31.3%	6.3%	18.8%	31.3%	18.8%	12.5%	6.3%	31.3%
	40歳～49歳	21	4	2	5	2	4	3	-	9
		100.0%	19.0%	9.5%	23.8%	9.5%	4.8%	19.0%	14.3%	42.9%
	50歳～59歳	15	3	1	3	2	-	1	-	7
		100.0%	20.0%	6.7%	20.0%	6.7%	13.3%	6.7%	-	46.7%
	60歳～69歳	14	2	1	1	2	-	1	-	8
		100.0%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%	-	7.1%	-	57.1%
	70歳～74歳	4	-	-	-	-	1	-	-	3
		100.0%	-	-	-	-	25.0%	-	-	75.0%
女性		26	3	6	4	4	1	2	-	13
		100.0%	7.7%	11.5%	23.1%	15.4%	15.4%	3.8%	7.7%	50.0%
女性	25歳～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	6	1	2	2	3	1	2	-	1
		100.0%	16.7%	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	-	16.7%
	40歳～49歳	11	1	1	1	-	-	-	-	7
		100.0%	9.1%	9.1%	9.1%	-	-	-	-	63.6%
	50歳～59歳	7	-	3	1	-	-	-	-	4
		100.0%	-	42.9%	14.3%	-	-	-	-	57.1%
	60歳～69歳	2	1	-	-	1	-	-	-	1
		100.0%	50.0%	-	-	50.0%	-	-	-	50.0%
	70歳～74歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

その他…副教科を扱うもの

・男性講師は「遠方の生徒でも授業参加できるeラーニング」「映像教材を簡単作成できるサービス」への興味が高い。

・女性講師は「ポイント付与などゲーム要素を取り入れた教育サービス」「授業中生徒の理解度や意見をリアルタイムで収集できるサービス」への興味も比較的高い。

## ■設問12

今後学習塾でのIT活用に期待すること、または課題をお答えください。(自由回答)

IT活用への期待	板書や添削等に画像や手元のカメラ、パワーポイントが使える状況になればもっとアカデミックな授業になると思う
	授業のマンネリ化を変えることができそう
	欠席した生徒に授業風景を伝送できることが可能になれば良い効果が期待できます。
	過去プリント内容の保存と分析
	低成績層の学力引上げ
	遠隔での授業。
	資料を映像で見せることが出来るようになると思います。
	ITを使うことによって生徒が講義を理解できるようになる
	参考資料などをネットで見せたい
	算数・数学では、図形を立体的に映像化できる。英語はネイティブな発音を聞かせられる。
	安価なランニングコストで導入できるIT教材の登場を願う
	模範演奏を手軽にみることが出来る
	識字障害者には有効かも知れない
塾側がしっかりITを知り、塾生のためにうまく利用したい。	
資料提供としてITを活用する一方で、「学ぶ」過程はIT化せず「書く・調べる」など手間ひまをかけて作業することで実力を定着させるべき。映像を見ただけで勉強した気になってしまわないよう役割に応じて住み分けをする。	

- ・IT活用により、生徒の学習意欲や成績が向上することが期待されている。
- ・講師・塾側のIT活用に対する理解が必要不可欠である。

今後の課題	インフラ整備とPCやタブレットなどの費用
	低価格で使用できること
	導入時の初期費用がかかりすぎる
	教材レベル向上
	万能のモノはない、生徒のニーズが多様すぎる。
	子どもたちが食いつくデザインや内容にして欲しい
	機器を間に挟むよりは、生身の指導が大切だと思う
	どんなにIT化が進んでも個別指導の重要性は不可欠である。
	一方通行的な映像教材になってしまう可能性がある。エンターテインメントに走り、本質がずれる。顧客だけが増えても、質問対応などのフォローができない。
	IT機器は生徒が個人で活用すべきだと思う。
	受動的な指導になってしまい、生徒の自ら進んで考えたりする力が育たないこと。
	人が人を教えることが大切
	試験ベースは紙なので、タブレットで覚えたことによる影響があるのかどうか不安です。
	DVDだけでなく昔の資料も再生できるようVHSやカセットプレーヤーも引き続き設置してほしい。
	自分自身のITのスキルが高くなければ導入しても使いこなせないという恐れが二の足を踏ませている。
一方的に映像や問題、説明を流すだけでは不安。質問や疑問に即対応できないとやはり使うのは難しいかも	

- ・生徒が受け身になってしまうのではと懸念する声も。
- ・従来の個別指導や直接指導の利点を残しつつ、生徒自らが主体的に考え、学べるIT導入が望ましい。

その他	ほんとうに効果のあるIT教育法が知りたいです。
	ネット配信型の小中学生対象の学習塾が成功するのはまだ先のことだと思う。
	塾にパソコンを設置して使うものはスペースや生徒人数的に無理があるので、生徒自宅のPCに配信されるものがよいのではないか。

・効果的なIT活用教育法の周知や環境整備が必要不可欠である。

## 塾における授業と教材、IT活用に関する意識調査報告書

---

---

2013年7月発行

発行： 株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」  
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

<http://Study.jp/esri>

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

---

---

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所  
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://www.digital-knowledge.co.jp/>